

八戸学院大学 学報

八戸学院大学短期大学部

建学の精神

「神を敬し、人を愛する」

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部は、カトリック精神に則る道德教育を施し、高潔なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することを建学の精神とする。

挑戦がカタチに、感謝が力に —進化する八戸学院—

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部の次期学長が決定

2024年11月22日（金）に開催された本法人の理事会・評議員会において、任期満了に伴う八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部の次期学長が承認され、大学の学長には小林眞理事長補佐が新たに就任、短期大学部の学長には杉山幸子現学長の再任が決定しました。

このことを受け、1月15日（水）に美保野キャンパスで記者会見を行いました。会見冒頭の挨拶で小林次期学長は、「これからの大学の在り方について、時代のニーズや流れ、地域が求める大学の在り方を踏まえ、今後2年間をかけて改組再編を進めてまいります。」と所信を表明しました。

続いて杉山学長は、「少子化の中の地方にある短大として、幼児保育学科は子どもを育てる保育者を養成し、介護福祉学科は高齢者や障がいのある方を支える介護福祉士を養成することを目的としており、この地域に求められる職業人になれるような学生を育ててまいります。」と抱負を述べました。

なお、小林次期学長、杉山学長の任期は2025年4月1日から3年となります。



各種国家資格・採用試験で輝く成果

本学人間健康学科では、各種国家資格・採用試験に力を入れてきた成果が表れ、社会福祉士国家試験では受験者全員が合格（合格率100%）を達成し、また教育職プログラム（養護）からは、4名の学生が現役で教員採用試験に合格しました。

社会福祉士国家試験は、福祉の専門職としての資質が問われる重要な国家資格であり、実習・講義・自主学習を着実に積み重ねた結果が、今回の100%合格という形で実を結びました。

また、養護教諭養成プログラムにおいては、学校現場で児童生徒の心身を支える専門職として求められる知識・対応力・実践力を磨き、現役で4名が教員採用試験に合格する成果を収めました。

本学では今後も、福祉・教育分野を中心とした専門職養成の充実を図り、学生一人ひとりの挑戦と成長を支える教育体制を整えてまいります。

幼児保育学科旧校舎に別れを告げる「感謝の集い」を実施

2025年10月19日（土）、八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科棟旧校舎（4号館）において、「感謝の集い」が開催されました。本学のキャンパス整備に伴い、1971年（昭和46年）の開学以来、多くの学生を見守ってきた旧校舎の解体が決定されたことを受けて行われた本セレモニーには、在学生、卒業生、教職員、地域の皆さまなど、多くの方々が足を運びました。当日は、記念セレモニーのほか、旧校舎の内部を開放し、来場者が壁に自由に思い出やメッセージを書き込む「メッセージウォール」も実施。学生時代を過ごした教室や廊下を懐かしむ卒業生の姿も多く見られ、会場はあたたかな雰囲気に包まれました。

旧校舎が多くの人々の心の中に深く根付いていたことが改めて感じられる一日となりました。4号館はその役目を終え、次の時代に向けて新たな歩みを始めます。本学では、これまでの歴史と記憶を大切にしながら、引き続き、より良い教育環境の整備と地域への貢献に努めてまいります。



強化指定部が飛躍の一年

本学、強化指定部の活躍が目覚ましい一年となりました。多くの部活動が地域リーグで頂点に立ち、全国の舞台へと飛躍を遂げています。

硬式野球部は、北東北大学野球春季リーグで見事な優勝を果たし、名門が集う明治神宮野球大会への出場。鍛え上げた守備と粘り強い打撃が光る試合展開で、着実に勝ち星を重ね、地域の頂点に立ちました。

男子サッカー部は、東北大学サッカーリーグで18年ぶり2回目の優勝という快挙を達成。長年積み重ねてきた基礎力と、チームの団結力が実を結び、地域の強豪を次々と破る快進撃を見せました。

女子サッカー部も記念すべき成果を挙げました。創部10年目にして全日本大学女子サッカー選手権大会（インカレ）初勝利を挙げ、これまでの努力と挑戦の歴史に新たな1ページを加えました。選手たちのひたむきな姿勢とチームワークが、全国の舞台で花開いた瞬間でした。

男子ラグビー部は、北日本大学ラグビーフットボール交流戦で優勝を果たし、全国大会への出場権を獲得。接戦を制する勝負強さと、力強いプレーが高く評価され、今後の更なる活躍に期待が高まっています。

また、男子バスケットボール部は、創部以来初めて全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）に出場。歴史的な快挙に部員・関係者の喜びは大きく、これまでの努力が実を結ぶ結果となりました。

これらの成果は、日々の鍛錬を怠らず競技と真摯に向き合ってきた学生たちの努力の賜物です。本学は、学業とスポーツの両立を支援するとともに、今後も学生の活躍を力

強く後押ししてまいります。

なお、これらの活躍の裏には、記録に残らずとも日々研鑽を積み重ねている多くの部活動の存在があります。競技の垣根を越えて、すべての学生アスリートが切磋琢磨しながら成長を続けている姿は、本学の誇りです。



令和6年度 地域経営学部地域経営学科の活動紹介

① 第5回「八戸SDGsフォーラム」

地域経営学科は、令和7年3月23日（日）に八戸ポータルミュージアム「はっち」で第5回「八戸SDGsフォーラム」を開催した。今回のフォーラムは、高等学校8校、13グループの参加に上った。各高校のテーマは多岐にわたっている。発表順に、八戸東高等学校「ICTを活用して個人の学習の定着度の差をどう補うか」と「海洋プラスチックのアップサイクルとその経済効果について」、八戸水産高等学校「キレイ 鮫・海 大作戦3 ～発見！わくわく磯探検～」、八戸高等学校「八戸市の海洋ゴミの実態と改善策」と「輸送で補う生活」、八戸学院光星高等学校「八戸市中心街活性化計画～私たちの3つの提言～」、八戸工業大学第二高等学校「子ども食堂から見えた地域」と「高校生ができる国際協力～フェアトレードを通して～」、八戸西高等学校「フードロスをなくす調理方法」と「八戸線の利用者数を増やそう」、八戸聖ウルスラ学院高等学校「魍魎魍魎が青森を救う？！～Sustainable tourism～」、八戸北高等学校「地域社会と連携した不登校生徒への個別支援・個別最適な教育のあり方」と「教育の力で多文化共生を実現する社会へ」であった。そして、前回と同様、八戸学院大学の教員が高校生の発表に講評を行う形態をとった。そして、今回は新しい試みとして横田准教授がモデレーターを務め、地域社会の持続可能な発展について高校生と本学学生が共に考えるワークショップを実施した。次年度も第6回「SDGsフォーラム」を開催していく所存である。



② 資格取得等の活動

地域経営学科では、専門教育科目において情報システム、プログラミング、簿記・会計に関する科目を配置し、地域経営に携わるために必要な情報・会計関連の資格や、商業・情報の教員免許状の取得に向けた指導に努めている。

情報関連資格については、情報処理の促進に関する法律第29条第1項の規定に基づき経済産業大臣が実施する情

報処理技術者試験の一区分である国家試験のITパスポート試験に2名が合格した。

金融関連資格については、相談者の夢や目標を達成するために、ライフスタイルや価値観、経済環境を踏まえながら、家族状況、収入と支出の内容、資産、負債、保険など、あらゆるデータを集めて、現状を分析し、相談者に適切なアドバイスを行うことを目的とする「ファイナンシャル・プランニング（FP）技能検定」の取得を目指しており、令和6年度はFP技能検定3級に2名が合格した。また、関連資格として、顧客に対して金融商品の販売・勧誘等を行うことを目的とする「外務員資格試験」があり、令和6年度は証券外務員一種の資格に3名が合格した。

簿記関連資格については、「企業の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能」を身につけることを目的とする日商簿記検定試験、ならびに「建設業経理に関する知識と処理能力の向上」を図る建設業経理士検定試験の取得を目指しており、令和6年度は日商簿記検定試験3級に3名、2級に2名が合格し、建設業経理士検定試験2級に1名が合格した。

教員免許状については、高等学校教諭一種免許状（商業）2名、高等学校教諭一種免許状（情報）7名が取得している。

③ 堤特任教授の課外活動 「地域を知り、地域と共に成長発展を目指す教育プログラム—フィールドワークin SMT S2025—」

地域への愛着、誇りを育み、地域の担い手として成長してもらうことを目的とした企業と学生による「国内外新規・販路開拓・拡大プロジェクト」の一環として、地域と学生が共に成長・発展していくための教育プログラムで、地元企業の理解や雇用創出、青森県内企業の国内外販路開拓に寄与する活動として学生が関与することで、地元定着、地元企業への就職等に期待するものである。

今回は、スーパーマーケットを中心とする食品流通業界に最新情報を発信する商談展示会である「第59回スーパーマーケット・トレードショー2025」にて、令和7年2月12日～14日の3日間8名の学生が青森県ブース出展企業の手伝いとして参加。会場内で参与観察調査を行った。

会場である幕張メッセのホール9・10・11にて、各都道府県の商談展示ブースを回り調査を実施。青森県ブースでは、青森市、八戸市、弘前市、十和田市、むつ市、平川市、平内町、平内町、外ヶ浜町、深浦町、板柳町、野辺地町、

七戸町、六戸町、おいらせ町、大間町、五戸町の全27事業所が商談展示を行っていて、青森県ブースと他県ブースとの違いや、工夫している点、魅力ある新商品等について、他の参加都道府県ブースすべてをモニタリングした。調査結果はデータ化し分析した後、地元企業へフィードバックする予定としている。



④ 加来ゼミナールの活動 「8エコフェス」

昨年の「親子で廃棄野菜からクレヨン作り」の取り組みをきっかけに、今年度の加来ゼミ4年生は、八戸市が主催する8エコフェスに参加した。

8エコフェスとは、市内小学生を対象に、街の環境を考えることを目的としたイベントである。今年度は、7月27日（土）に開催され、なぎさなお氏（株式会社フードコミュニケーション代表取締役）のエコ料理、サイトウパピコ氏のエコアートの催しとともに市内のごみ処理講座と野菜クレヨン作り体験を実施した。

準備では、小学生にもわかりやすく、楽しく学べるように、八戸市のゴミ処理の課題をまとめた。難しい用語の説明、クイズ等によって楽しませるための工夫をすることが難しく、準備は難航しましたが、なぎさ氏や市役所の方々のアドバイスのもと、何とか準備を終えることができた。

その甲斐もあって、当日の報告では「楽しかった」、「わかりやすかった」などの声を掛けてもらい、ゼミ生はとても満足した様子だった。また、この作業によって、趣旨の理解、クレヨンの作り方などがわかりやすくなったため、後輩への引継ぎ資料としても最適になった。

ありがたいことに、次年度は白山台公民館に声をかけてもらい、小学生向けに街の環境を考えるイベントを8月に実施する予定である。4年生が築いた取り組みをゼミ内で受け継いでいけるよう、これからも様々な活動に取り組んでいきたい。



⑤ 井上ゼミナールの活動 「はちがくスムーズー neoの販売について」

2年前に八戸市農業経営振興センターとの共同研究として開発した「はちがくスムーズー」は、規格外農作物の有効活用というSDGsの視点で、地元産のりんごとトマトを

活用して販売し、完売することができた。その後も八戸市や関係企業との共同研究は続け、どうすれば地元地域の生産者が利益を得られるのか検討した。

そして今年度、経済的な成果も目指すという方針から、中心街活性化につながるようなイベントを企画し地元農作物を活用した商品を販売することになった。トマトを生産している環境緑花工業株式会社からブロッコリースプラウトも提供いただき、より健康的な「はちがくスムーズー neo」を開発。10月にはちのへホコテンで試験的に販売し、その結果を活かして12月は井上ゼミ独自で八戸ポータルミュージアムはっちにて販売した。年末の宴会シーズンに合わせて、飲酒する人へ健康面でアピールし、アンケートに回答したら割引提供するなど、マーケティング、広報活動を工夫した。結果、予定数以上を販売することができたうえ、アンケート結果から地元農業による地域活性化について考察できた。

連携先の企業や八戸市からは次の展開を期待する声をいただき、今後も継続して共同研究を進めていきたい。



⑥ 横田ゼミナールと八戸水産高校との「SDGsサミット」

国際関係論を専攻する横田ゼミナール（3年生6名）は11月16日に本学美保野キャンパスにおいて、青森県立八戸水産高校水産科学科の生徒（3年生5名）とともに「SDGsサミット」を開催し、「豊かな社会のためにとって大切なこと」をテーマとしたワークショップを実施した。そのなかでは、①自分が豊かに暮らすためには何が大切か、②八戸が豊かな街であるためには何が大切か、③海の豊かさを守るためには何が大切か、④世界全体が豊かであるためには何が大切か、の4点について議論を行い、参加者の間で多様な意見を共有し、持続可能な発展の実現に向けて自ら考え、行動していく際に求められる物事を多角的に捉える視座を養うことができた。

本取組は、高大連携の一環に位置づけられるとともに、高校における「総合的な探究の時間」に対する大学の支援の一形態だといえる。八戸水産高校が本年度申請・獲得した「八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金」を活用して行い得たものである点、ならびに「サミット」に参加した生徒たちがその成果を含めて八戸市主催の「学生&高校生まちづくりコンペティション」で発表し、特別賞を受賞



した点を踏まえると、地域社会に貢献する取組であったとも評することができる。横田ゼミナールでは、次年度以降も地域社会と連携した取組を積極的に実施していく。

⑦ 楊准教授の国際交流活動「中国文化の授業：中国上海建橋学院とのオンライン交流」

国際交流と国際学修を目的とした中国文化の授業では、毎年中国の大学とオンライン交流を実施している。2025年7月9日（火）には、八戸学院大学の学生（地域経営学科、人間健康学科、看護学科）、高大連携事業で大学の講義を受講している光星高校高校の生徒41名、そして上海建橋学院日本語学部4年生42名の計83名が参加し、オンライン交流が行われた。

今回、上海建橋学院大学とのオンライン交流は初めての試みである。上海建橋学院大学は1999年に設立され、約25,000人の学生が在籍し、経済学、経営学、日本語、工学、科学、芸術、教育など49の学部を有する総合大学である。交流会では、日本側から「日本食と手話」、「アニメ」、「日本と中国の恋愛観」、「日本の観光地」について、中国側からは中国の観光地や日本のアニメについて発表が行われ、それぞれのテーマに関して質疑応答が活発に交わされた。この交流を通じて、学生たちは異なる文化や価値観に触れ、新たな視点を獲得する貴重な機会となった。

異文化交流の場として、学生たちは相互理解を深め、国際的な視野を広げることができた。また、この経験は、今後のキャリア形成にも大きく寄与するものであり、将来にわたる日中の友好関係の発展にもつながることが期待される。



⑧ 川守田・加来合同ゼミナールによる「はちがく フラワーロスプロジェクト」

SDGsの取り組みとして、食べ物、洋服、家など生活面のあらゆる商品に対しロス削減、4Rの視点を持つことが社会的に要請されている。「フラワーロス」は、コロナ禍において誕生したものであり、全国的に無駄をなくそうとする動きが現れ始めた。そこで、私たちは、青森県内においても花卉栽培が多い三八地域のフラワーロスの削減の可能性を探るため、世界や全国のフラワーロスの取り組みを調べるとともに市内の具体的な取組について調べ、その対応策（アップサイクル）について考えた。「令和6年度八戸市学生まちづくり事業」の助成金を活用し、まず、文献・ヒアリング調査を実行、フラワーロスの現状分析を行った。その結果、フラワーロスを削減する活動として、名久井農業高校やボランティアで来られたフランス人と意見交換を行いながら階上町の花屋である「花大」と協力し、アップサイクルに取り組み、レジンアートやキャンドルも作成し、はちがくフェスでは商品の展示も行った。また、ロスフラワーを使用したバスボム作り体験を実施し、参加者の方々にはアンケートにもご協力頂いた。資源を有効活用し、付加価値を生み出すビジネスへの発展に学生たちも興味を示し、積極的に取り組んだ。最終報告会の学生まちづくりコンペでは特別賞を受賞した。この学びの場を通して「自分で考えて行動できる」という実感が、モチベーションを大きく高め、学生たちの自信にも繋がった。次年度は、チャレンジ精神をモットーに新たな取り組みに挑戦したい。



令和6年度 健康医療学部人間健康学科の活動紹介

人間健康学科では、学科会議・カレッジアドバイザー会議を通じて、課題を抱える学生に対して情報共有しながら必要な教育支援を行った。本学で実施している八戸学院健康マイスターには3名が認定された。また教員免許状の取得は、高等学校一種免許状（保健体育）22名、中学校一種免許状（保健体育）12名、養護教諭一種免許状15名、そのうち中学校・高等学校教諭一種（保健）1名、中学校・高等学校教諭一種（保健・看護）1名、高等学校教諭一種（看護）1名が免許状を取得した。JATI認定トレーニング指導者試験は1名が合格している。認定心理士の資格申請は19名が行なった。社会福祉士国家試験は、受験した6名が全員合格し、合格率100%を達成した。食生活アドバイザー試験2級では3名、3級では9名、あおもり食育検定では16名が合格した。

地域貢献活動では、大学祭での学生主体による「地域住民を対象とした健康調査（身長、体組成、骨密度、血圧、握力の測定と貧血検査）」や、南部町と連携した地域住民向け「転倒・寝たきり予防教室における健康調査」を行っ

た。また今年度の地域医療セミナーでは、山本知也氏（むつ市長）を講師に「むつ下北医療とへき地医療」をテーマに開催した。健康医療学部公開講座は看護学科と共催し「生活習慣予防とセルフケア安全で安心な暮らしを支える実践的アプローチ」をテーマにポータルミュージアムはっちで開催した。

以下、本学科の主なコースプログラムについて活動を紹介する。（人間健康学科学科長 吉田 守実）

① スポーツ科学分野

人間健康学科スポーツ科学分野では、中学校・高等学校の保健体育教諭免許、日本トレーニング指導者協会公認トレーニング指導者（JATI-ATI）、日本スポーツ協会（JSPO）公認スポーツコーチングリーダーの資格の取得が可能となっている。JATI-ATIはスポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格、JSPO公認スポーツコーチングリーダーは地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等におい

て、安全・安心で基礎的なスポーツ指導や運営にあたる方のための資格であり、どちらの資格も在学中に試験に合格することで取得が可能である。今年度の活動としては、南部町の社会教育課と連携して高齢者の転倒寝たきり予防教室に介入し、学生が主体となり年6回の測定およびフィードバックが行われた。また、青森県立八戸高等学校との高大連携協定の締結により、高校1年生にはウォーミングアップにおける各種ストレッチがパフォーマンスに及ぼす影響について、高校2年生には高校生と大学生が一緒になったアクティブラーニング形式の授業が、大学生が主体となり実施された。

(スポーツ科学分野担当 渡邊 陵由)



地域住民を対象とした健康調査

② 養護教諭養成課程

養護教諭養成課程では、児童生徒の健康と成長を支援するために必要な知識や実践力を備えた養護教諭（保健室の先生）を養成する。児童生徒の現代的健康課題は、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関する問題など多様であり、身体的な不調の背景には、いじめ、児童虐待、不登校、貧困などの問題が関わっていることもある。このような多様化・複雑化する健康課題については、専門的な視点での対応が必要であり、専門性の高い養護教諭の養成が期待されている。主な学習領域には、①学部で構成される多様な授業、②学外での実習の2つがある。①には、豊かな人間性・判断力・行動力を養うリベラルアーツ、こころとからだに関する健康科学の教養を獲得するための専門教育科目、養護教諭としての活動の基礎や実践に関する教職課程履修科目がある。②には、3年次の看護学臨床実習、4年次の教育実習がある。難関の公立学校教員採用試験では、今年度は4名が現役合格したほか、多数の卒業生が教育現場で活躍している。

(養護教諭養成課程担当 浜中のり子)

③ 心理学分野

人間健康学科では、心理学の専門教育科目として17科目を開講しており、これらの科目を一定数履修することで、「認定心理士」の資格を取得することが出来る。「認定心理士」とは公益社団法人日本心理学会が認定している民間資格であり、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的な基礎学力と技能を修得していることを保証する資格である。本年の卒業生では19名の学生が認定心理士を取得した。この認定心理士を取得するための必修科目として、3年次に「心理学基礎実験」と「心理学実習」という2つの学内実習科目を開講している。「心理学基礎実験」では、心理学の研究手法である実験の技法を習得することを目的として、心理学の研究テーマである感覚・知覚、思考、記憶、行動学習、感性に関わる8種類の基礎的な実験を行った。一方、「心理学実習」では、心理学の実験以外の研究技法である「質問紙調査」、「面接調査」、「行動観察調査」、「生理指標測定」の実習に加え、臨床現場で用いられている「3種類の心理検査（質問紙法、作業検査法、投影法）」および「知能検査」の診断技法を身につける実習を実施した。今年度は20名の学生が来年度の認定心理士取得を目指して、両実習科目を受講した。

(心理学分野担当 金地美知彦)

④ 社会福祉士プログラム

社会福祉士プログラムにおいて例年実施している「地域生活支援センター・カシオペア」との連携による事例検討会は、今年度で5回目を迎える。令和6年11月13日に「カシオペア」の支援者の方々にお越しいただき、実際に支援している障害のあるクライアント2人事例検討を実施した。履修生たちは、実際のケースに対するアセスメント（クライアントの情報を収集して分析すること）を深めるために、ケースの当事者について、心身、経済、就労などさまざまな側面をとらえて質問をした。その後、グループ討議をし、それぞれのケースを解決するために、どのような支援が実践できるか考察し、意見をまとめて発表した。

現場との連携による学びのプロセスは、参加した学生たちにとって、対人支援において多面的な視点をもつことの必要性に気づく機会となりうる。社会福祉士になりゆく学生がソーシャルワークの力を培うために、今後も継続していく予定である。

(社会福祉士実習担当 大木えりか)



「地域生活支援センター・カシオペア」との連携によるソーシャルワーク演習

令和6年度 健康医療学部看護学科の活動紹介

看護学科は看護師または保健師（選択制）を養成する4年生の学科であり、日々進歩する看護の知識や技術に対応できる能力や豊かな感性と人間性を備え、地域の保健医療活動、健康増進に看護の実践者として貢献できる資質の高い人材を育成することを教育目的としている。学生指導は

ゼミ担当・カレッジアドバイザー制の少人数体制で指導を行い、支援が必要と思われる学生については、学科会議等で教員間の情報共有を行い、対応している。また、次年度からのむつ下北キャンパスの開校に向けて準備を行っている。看護学科の主な活動について、担当責任者から報告す

る。(看護学科長 田中 克枝)

第8回宣誓式および特別記念講演について

令和6年5月11日(土)に第8回宣誓式が、来賓、保護者、在学生と教職員の出席の下、2年生42名が参加し、開催された。「宣誓式」は、自らが目指す看護師像を宣誓する式として、本学では専門的な学習が本格的に始まる2年生を対象に、近代看護の創始者であるフローレンス・ナイチンゲールの生誕の日(5月12日)に合わせ開催している。宣誓者の2年生は、一人ひとりナイチンゲールの看護の灯火を受け継ぎ、「人間性を高めること」「社会の変化に伴う新しい知識、技術を身に付けること」「その人らしく人生を全うできるよう心の支えになること」「自立し責任ある看護師になること」を宣誓した。

宣誓式後の特別記念講演は、青森県立保健大学名誉教授の上泉和子先生より、「看護師になるーTo be a nurseー」のテーマで、ご自身の体験を交えながらご講演いただいた。素人である「学生」が、看護師のふりをすることから「看護師」に変身するためには、患者と対話し真に患者の声を聴くこと、実習などでの経験を知識と組み合わせ整理し、積み重ね、常に学習しながら、現場で生かしていくことが大切であるなどをお話いただいた。

宣誓式や特別記念講演に参加した2年生からは、「宣誓の詞を忘れず頑張っていきたい」「憧れてきた看護師に絶対なろうと思った」などの感想が聞かれ、看護の道を進む決意を新たにしたい機会となった。

(令和6年度宣誓式実行委員長 切明美保子)



看護学科就職内定状況と就職支援活動報告

令和6年度八戸学院大学健康医療学部看護学科では61名の学生が卒業を迎えた。県内就職者22名(36.0%)、県外就職者37名(60.6%)で就職内定率は96.7%であった。このうち保健師課程修了者は8名で、そのうち保健師採用は3名であった。県外の就職先は出身県の岩手県や北海道、他は関東圏であった。

就職支援活動は、3年次進級してすぐの4月からキャリア支援講座を実施した。内容は「スタートアップ講座」「病院選定」「卒業生講話」「マナー講座」「マスター講座」の5講座を1年間のなかで実施している。その他、学年問わず4月に3回論文講座も実施している。また、大学主催の就職説明会や教員との年2回の就職面談や希望により就



職相談や面接練習も実施し、希望する就職先に内定できるよう支援している。また、早めに内定を得ることで、余裕をもって看護師国家試験に臨めるよう指導を行っている。

(看護学科就職支援委員会 築場理利子)

看護学科国家試験対策について

国家試験対策では、看護師国家試験対策を自律して行うことができることを目標と掲げ、3学年では、学習計画をたて看護師国家試験過去問題集を用いて学習をすすめることで、学習に関する動機付けと積み重ねを行い、看護師国家試験への自覚を高める。4年生では、自主的に計画を立てて学習し理解することで自信をもって国家試験に臨むことができるとしている。対策としては、国家試験対策の模試状況やGPAなどにより、早期からの支援が必要な学生を抽出し、学習の進捗状況や学習方法について個別の学習計画をたて支援を行っている。また、確認テスト・全国模試・領域補講・外部講師による対面講義などを実施し学生支援をしている。しかしながら現実、国家試験問題も看護判断能力や看護実践能力を問われる問題が増えており100%の合格は難しい状況である。そのため1年次からの学習の積み重ねが重要であると痛感している。

第114回看護師国家試験受験者 59名

合格率(中国からの留学生1名含む94.9%)

第111回保健師課程受験者 7名 合格率(100%)

(看護学科国家試験対策委員長 坂本 保子)

保健師養成課程について

保健師の活動は社会の動き、人々の考え方・行動と深くかかわっています。例えば、生活習慣病、児童虐待、高齢者や障がい者の孤立、自殺対策を含むメンタルヘルス、新型インフルエンザ等の感染症、地震・豪雨等の自然災害、健康格差などです。そのため、保健師の仕事は、地域で生活する乳幼児から高齢者など幅広い年齢層、健康な人から病気が障がいを抱える人等、あらゆる人びとと地域全体の健康のため、対象や地域に応じた方法で展開されます。

保健師養成課程では、健康教育・保健指導・乳幼児健診等の学内演習、大学周辺の地区踏査・乳幼児健診の見学等の学外演習、保健所・市町村保健センター・地域包括支援センター・一般企業等での施設実習を通して、地域の人々が生活の営みの中で健康を維持し、よりよい状態に高めていくことが出来るよう、個々人に応じた援助や地域全体への働きかけ、予防から支援までを行うために必要な基礎的知識・技術を学んでいます。

(保健師養成課程教員 古舘美喜子)

むつ下北キャンパス開設準備について

看護学科では令和7(2025)年4月から、むつ市内に看護学科に特化した「八戸学院大学むつ下北キャンパス」を開設するため、学内教職員で構成される「むつ下北キャンパスプロジェクトチーム」を立ち上げ開設準備にあたってきた。同キャンパスは看護師・保健師国家試験受験資格取得を目指す学生を受け入れ、下北地域の保健医療活動や健康増進に看護の実践者として貢献できる人材を育成することを目的としている。学びについては、「むつ下北キャンパス」で受講するオンライン講義とともに週に2回「美保野キャンパス」にバスで来学し対面講義を実施することを予定している。また、臨地実習は「むつ総合病院」や「むつ

市内の施設等」で実施する方向性として調整を行っている。

学費等については、むつ市が一部事務組合下北医療センターと協力し、入学金と学費の全額を貸与し、卒業後「むつ総合病院」で10年間勤務することで返済を全額免除する新たな修学資金貸与制度を設け、看護師になりたい学生の経済的負担や自宅からの通学に対応している。

同キャンパスの一期生となる2025年度の入学予定者は11名を予定している。一期生の入学に向けて、学生が満足できるような学習環境を整えていくべく、解説準備を行っているところである。

(令和6年度むつ下北キャンパス開設準備委員
看護学科木村 緑)



令和6年度 健康医療学部別科助産専攻の活動紹介

令和6年度で開設2年目を迎えた本別科は、入学生4名が無事卒業を迎え青森県内に助産師として就職することになった。科目のいくつかをセメスター変更(開講時期)し、昨年度とほぼ同じ非常勤講師・ゲストティーチャーのご協力のもと、さらに臨地実習先では手厚いご指導をいただいたことに深く感謝する。地域における「未就学児の性の健康教室」や「高校生女子アスリート対象の健康教室」は、学生中心に活動し地域への貢献に繋がった。また、今年度から受胎調節実地指導員資格を取得するシステムを整え、本別科では助産師国家試験受験資格と受胎調節実地指導員資格を取得できることになった。日頃よりご尽力いただいている講師や事務部門の方々にこの場をお借りし深く感謝申し上げます。(別科助産専攻 別科長 高橋 雪子)

「未就学児の性の健康教室」

八戸学院系列3つの幼稚園と、一般募集の4回にわたり、未就学児の性の健康教室を開催した。今年度は、「自分の身体を知って大事にしよう」を目標に、「プライベートパーツ」「男の子と女の子の体の違い」「いいタッチとわるいタッチ」の内容で構築した。不審者が子どもに声をかける寸劇では、女の子や男の子の役を園児たちに参加してもらい演じてもらった。不審者に「プライベートパーツを見せて」と言われたらどうするかを会場の人みんなで考えた。そして全員で声を出して「いやだ!」と言って、全力



で「にげる!」、そして信頼できる大人に「はなす!」ことを実践したことで強く印象に残ったようだ。学生は4名全員で対象に合わせた展開を考え、取り組み、多くのことを学びながら学生時代に経験することの重要性を認識していた。(別科助産専攻 藤邊 祐子)

「高校生女子アスリート対象の健康教室」

助産学生が主体となり、高校生女子アスリートを対象に「月経とスポーツ」というテーマで健康教室を開催した。2年目となるこの健康教室は、昨年の八戸学院光星高等学校に加え、新たに三沢高等学校と八戸西高等学校の2校が加わり、本年度は合計3校で開催することができた。学生は、準備段階から対象がより理解しやすいように構成や媒体を考え、より良いものになるよう学内リハーサルを重ねた。6名から約100名まで参加人数や会場の規模の違いに戸惑いながらも、学生はその場で柔軟に対応しており、その姿に入学時からの成長を感じた。受講した高校生からは、「とても分かりやすく楽しく学べた」「産婦人科を受診しようと思った」「月経痛の対処方法を活用したい」という感想が聞かれ、対象が正しい知識を持ち、さらに行動変容につなげるという健康教室の目的を達成したと考える。助産学生が健康教育技法を学びながら、地域貢献の一端を担うこの取り組みを今後も継続していきたい。

(別科助産専攻 前森 桃子)



令和6年度 幼児保育学科の活動紹介

短期大学部幼児保育学科では、既定の教育課程(講義、演習、実技、実習)と行事を通して、学科の使命である「幅広い教養と豊かな人間性」、「保育者としての専門性」、「地

域・社会に貢献しようとする社会性」を育むため、さまざまな取り組みを行なっている。

特に、「保育所実習」、「施設実習」、「教育実習」等の事

前事後指導は、年間を通して一斉指導による授業のほか、個別での指導やサポートを行なっている。また、各実習施設とも情報交換・情報共有を図る機会（実習担当者連絡会議）を設け、各施設の実習担当者様はじめ職員の皆様からも多大な協力と支援を頂戴している。お陰をもって、今年度も資格・取得率は高い水準を維持しており、福祉・教育施設への就職率も90%台で推移している。一方、昨今の課題として、県内あるいは北東北圏内への就職率を増加させることが挙げられる。

また、多様化する学生の実態に対応すべく、今年度はじめて学科全体で合理的配慮の構築の取り組み、配慮が必要な学生に対して個別の学修支援を行なった。

「地域文化論」、「地域文化実践講座Ⅰ・Ⅱ」では、地域のボランティア活動や伝統的な行事への参加をはじめ、地域で活躍されている方々を招聘し、地域の歴史、自然、文化、産業等についてご講話いただき。講義後の授業アンケートでも高い評価を得た。

主な行事としては、6月の「砂浜での活動」、7月の「流し踊り」、11月の系列幼稚園3園の年長児との共演による「ノア方舟」、2月に行われた「ミニオペレッタ」が挙げられる。

毎年6月に白浜海岸で行われる砂浜での活動は、これまでの「砂浜彫刻」から「砂浜ゼミ」に変わり、各ゼミナールで砂浜という環境を生かした遊びを考え実践する活動が行われた。毎年7月に開催される八戸七夕まつりの「八戸小唄流し踊り」では、昨年度から短大生が全員参加することとなり、浴衣姿の学生や教職員が練り歩き、沿道からたくさんの声援をいただきながら、踊りを披露することができた。学生たちの晴れやかな笑顔が印象深かった。郷土の伝統行事に親しむ機会をこれからも大切にし、願わくば、卒業後には地域子どもたちに伝承してもらいたいと期待

している。系列幼稚園児との共演による「ノア方舟」では、建学の精神に基づいた作品をまとめあげる過程で一すなわちリトミックの授業やリハーサルを通して一学生たちが園児と関わりを持ちながら各系列園での保育者の指導法を間近で学べることは、本法人ならではの貴重な学びの機会であり、今後も大切にしていきたいと考えている。2年生の卒業公演にあたる「ミニオペレッタ」では、昨年同様、地域の保育園・こども園や幼稚園を招き、学生主体の運営で開催された。幼稚園、保育園関係987名、高校107名、一般40名の来場があり、学生と観客が一体となった躍動感あふれる豊かな表現発表の場となった。

こうした行事はもとより、全教育活動を通して本学科のディプロマポリシーの一つである「保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる」学生の育成に、今後も全教職一丸となって取り組んでいきたい。



星の子シアター



地域文化論実践講座



ミニオペレッタ



砂浜演習

令和6年度 介護福祉学科の活動紹介

介護福祉学科では、地域から要請される高い専門性を有した介護福祉職のリーダーを養成することを目的に様々な教育活動を展開してきた。

令和6年度の入学生は、留学生2名を含む11名で入学生激減により、学生募集活動をさらにバージョンアップさせ、全教員が連携しながら学生の協力を得て活動した一年であった。特に今年度は学生による介護レンジャー結成により、地域とのつながりを多く持つことができ、地域貢献の意義や介護の価値を、再認識する機会となった。

介護福祉士国家試験対策として1年次から授業案の中に落とし込み、2年次では計画的に対策を講じ、成績の振るわない学生に対しては個別対応をするなどきめ細やかな対応を行った。しかし、特に留学生においては日本語理解という問題があり、今後、継続した学習支援と日本語理解のための授業設計を計画している。

認知症の介護における専門性を高める教育として、岩館ゼミでは例年、ゼミ生に認知症介助士資格取得をさせている。今年度は全学生の認知症理解の向上を目指して、認知症サポーター養成講座の受講(希望者)、VR認知症体験(1年生は授業として、2年生は希望者)を実施した。研究演習のゼミ活動とし、エコキャップ活動、高齢者施設

でのレクリエーションボランティア、ハンドマッサージボランティア、認知症フォーラムへの参加、オレンジカフェでのボランティアなど多様な活動を行った。この様々な経験が、学生の介護福祉職としてのアイデンティティの確立に向けて成長する機会となった。

以下、特徴的な取り組みについて紹介する。

1. 介護人材獲得アクション2024の実施について

産学官の連携のもとに、介護人材不足や福祉専門職の資質の向上という課題解決に向けたプラットフォーム協議会を2022年度から設置し、中高生、保護者向け広報誌の作成や教育現場での福祉啓発活動、福祉に関する調査活動を実施している。これらの活動に学生も参画することで、学生の学びの機会としている。

(1) KAIGOFESTA の開催

「ボクたちは生きつづけ、そしてトシをとる。」をメインテーマに、令和6年12月7日(土)、幼児保育学科棟を会場にKAIGOFESTAを開催した。参加者は学生46名、一般30名であった。プログラムは、基調講演「互いに認め、元気になる介護」をテーマに高口光子氏(元気がでる介護

研究所)による講義を聞くことで学生は介護の魅力を再発見できた。午後は、介護レンジャーによるコグニ体操やクイズ大会、体験コーナー(介護ロボット体験・納棺体験)や販売コーナーなどを開設し、事業所の方々の協力のもと開催し、地域の方や事業所の方々との交流を深めることができた。KAIGOFESTAにより学生は、多様な視点を持つことの重要性、将来を見越した福祉のあり方、介護の基本的な視点の再確認、リーダーシップの大切さなどを学ぶ機会となった。

(2)「介護のしごと紹介マガジン」の作成

今年度は、高校生の保護者および高校の教員向けにマガジンを作成し、八戸市内および三八地区、岩手県北、岩手沿岸地域の小中高生に配布した。また「介護のしごとマガジン」とSNS(YouTube 動画)と連動させ情報発信を行った。

(3) オープンカレッジの開講

八戸学院まちなかラボにおいて、介護福祉の普及啓発を目的に、オープンカレッジを7講座開講(各教員1講座担当)し、学生も参加し教員の補助をしながら自らの学びを深めた。講座の内容は、「災害時の福祉支援について考えてみよう」「アロマスプレーづくり～香りのレクリエーション～」「バリアフリーについて考えよう」「世代間のミゾを埋める効果的なコミュニケーション」「認知症の世界の歩き方～認知症の方が生きている世界を旅しよう～」「楽しく脳トレ～音読で脳を活性化しよう～」「やってみようハンドマッサージ」であった。

(4) 児童生徒の「福祉・介護の学び講座」の開催

昨年度までは、中学・高校生をターゲットにしていたが、今年度より小学生まで対象を広げ3か所で実施した。実施校および内容は以下の通りである。

①八戸光星野辺地西高等学校

令和6年10月2日(水)に2・3年生(17名)を対象に「レクリエーションを活用したコミュニケーション技術」をテーマに出前授業を実施した。本学教員および学生5名が参加した。

②八戸市立轟小学校

令和7年1月31日(金)に5・6年生(13名)を対象に「おい・介護の疑似体験」をテーマに出前授業を実施した。本学教員および学生5名が参加した。

③八戸市立三条中学校

令和7年3月3日(月)に2年生(84名)を対象に「高齢者の心身の特徴、どんなことができるか考えるきっかけづくり」をテーマに出前授業を実施した。本学教員および学生5名が参加した。

2. 学生の学び・知識・技術を活かし活躍できる機会の創出

地域文化論Ⅱの学習目標である「地域の特性を踏まえ地域活性化の現状と課題を明確にし、解決策を考え実施することができる。」について、授業の中で取り組んできた課題について、地域に出向き、自分たちの学び・知識・技術を活かした活動を行うことができた。その内容は以下の通りである。

①岩手県洋野町において、令和6年度認知症予防啓発講演会に2年生35名が参加した。学生は介護レンジャーに

よるコグニ体操の実施、認知症クイズの実施、地域の方々とグループワークのファシリテーターとしてそれぞれ役割を担い、実践的学びを体験した。この活動についてはNHK(岩手県)で放送され、デューリー東北でも大きく掲載された。

②岩手県岩泉町立岩泉小学校において、認知症サポーター養成講座に教員とともに介護レンジャー5名が参加し、小学生に対する講座の補助とコグニ体操の指導を行った。

③「考える福祉教育」事業 久慈東高校福祉系列生徒との未来トーク(社会福祉法人みちのく大寿会主催)に学生2名がパネルディスカッションに参加し発表した。

今後も学生が学んだ知識や技術を活かし活躍できる機会を作っていく予定である。



外での車いす体験(種差海岸)



ハンドマッサージボランティア



利用者とキャップアート



VR認知症体験



久慈東高校福祉系列生徒との未来トーク



洋野町認知症予防普及啓発講演会

八戸学院大学 令和6年度 入学式 式辞

八戸学院大学へ進学された皆さん、ご入学おめでとうございます。この春、八戸学院大学は、新入生として208名、編入学・転入学生として4名。加えて、昨年度から新たに開設された別科助産専攻に4名の総数216名を迎えることとなりました。八戸学院大学を代表して、これからの時代を支える皆さん、希望と様々な夢と熱き情熱に満ち溢れる若人を心から歓迎いたします。

本日、ご入学を迎えられたご子弟にこれまで長きにわたり寄り添ってこられたご家族・ご関係の皆様へも心よりお祝いを申し上げます。また、この入学式にご臨席を賜りました

八戸市長・熊谷雄一様をはじめ、ご来賓の皆さまへ厚く御礼を申し上げます。

八戸学院大学は、今から43年前、1981年に商学部を有する大学としてスタートして以来、地域経済へ貢献する多くの諸先輩を輩出してまいりました。この流れを受け継いでいるのが地域経営学部です。今年度、地域経営学部は新入生・転入生合計77名を迎えます。地域社会の未来を描くことのできる力、地域の発展を支える担い手となる力を育んでいただける事を期待いたします。

本学において、健康、スポーツ、福祉、看護、保健分野について専門性を高める学びが設けられているのが人間健康学科と看護学科から構成される健康医療学部です。今年度、健康医療学部では新入生・転入生・編入生合計135名を迎えます。運動・栄養・休養、さらに、看護・保健などに関わる専門知識と技術を活かして人々の健康と日々の安心・安全な生活を支え自らが健康の主体として実践できる力量を備えた地域のリーダーが本学から生まれることを願っています。

別科助産専攻は、看護師の国家資格を有する新入生4名を迎えて、地域に根ざした母子保健活動の実践者を育てます。

八戸学院大学は、国際交流の取り組みにも力を注いでいます。美保野キャンパス在学中の留学生との交流、あるいは、オンライン授業・短期留学プログラムへの参加による言語・歴史・文化・習慣が異なる海外の仲間と繋がる経験を通して、国際的な視野を持ち、多様な仲間と共存共生できる力量が醸成されることを願っています。

これから始まるキャンパスライフの主人公は、光り輝く皆さん一人ひとりです。学科・別科としての学問の探究のみに止まらず、課外でのスポーツ・文化芸術・ボランティア活動等に積極的に参加することで今までとは異なる世界が垣間見えて来ることに大きな期待が寄せられています。学びと課外の学生生活で何を掴んだか、未来のあなたが自信を持って仲間へ伝えることが出来る成果を少なくとも一

つはしっかりと掴み取って下さい。

さて、成人となる年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が一昨年の4月1日に施行されました。成人となった18歳の皆さんにとって、規範に則った行動が一層求められる社会を迎えていることを一人ひとりがしっかり自覚してください。

結びに、皆さんの郷土となる八戸。この郷土・八戸を「愛する心」、そして、この美保野キャンパスにて共に過ごす短期大学部と大学の仲間を「愛する心」、加えて、皆さん自身の無限の可能性に絶え間なく挑戦する「志」を育んで下さることに大きな期待を寄せて、式辞といたします。

令和6年4月5日

八戸学院大学 学長 水野眞佐夫

八戸学院大学短期大学部 令和6年度 入学式 式辞

暖冬から一転して大雪に見舞われるなど、不規則な天候が続いておりましたが、春の雨と日差しの暖かさに少しずつ緑が息を吹き返し、美保野キャンパスの桜も蕾の膨らみが見て取れるようになりました。ここに令和6年度入学生の皆さんをお迎えすることができ、教職員一同、嬉しく温かな気持ちに包まれております。キャンパスの門を晴れてくぐられた幼児保育学科55名、介護福祉学科11名の皆さんを心より歓迎いたします。ご家族の皆様にも謹んでお祝いを申し上げますとともに、ご臨席賜りました来賓の方々に厚く御礼申し上げます。

去る3月18日はまだ寒さの残る日でしたが、八戸市公会堂で行われた本学の卒業式では、令和になって初めて学歌および式歌“ハレルヤ”を声を出して歌うことが叶い、私たちは晴れがましい気分でした。昨年は本学の特色である地域との交流が復活した年でもあり、さまざまな行事に多くの来客をお迎えしたり、地域の行事に参加したり、ボランティア活動に出向いたり、学生の力を発揮してもらう機会がたくさんありました。皆さんにもこれからの2年間、キャンパスの内外でさまざまな活躍してもらいたいと思っています。

私は系列の八戸学院幼稚園の園長を兼務しているため、子どもたちを間近に見る機会に恵まれており、その変化・成長の早さと見事さを日々まぶしく感じております。登園してもなかなか動き出せず、友だちが遊んでいるのを眺めていた子どもが、いつの間にか輪に入って遊ぶだけでなく、自分から遊びに誘うようになっていたり、練習では上手に演技ができるのに、人前では恥ずかしがってなかなか動けなかった子どもが、ある時期から堂々と演じられるようになっていたり、枚挙に暇がありません。そして不思議な

のは、そのきっかけが何だったのか、往々にしてよく分からないことです。きっと、日々の生活での担任とのやり取りや活動を通して少しずつ内面に生じていた変化が、あるときに表に現れるのでしょう。

ここに集う皆さんも同じだと思います。保育者や介護福祉士を目指している皆さんは、既にその資質を有していると思われそうですが、それだけで専門職者になれるわけではありません。日々の勉強や実習に加えて、何気ない友人とのやり取りや何かに協力して取り組むこと、地域の方との交流やアルバイト等の経験など、さまざまな事柄が積み重なって、保育者らしい、介護福祉士らしい顔や振る舞いになって現れるのだと思います。私たちは毎年学生のそうした変化に驚かされてきました。ただ、子どもの場合と違うのは、その変化を引き起こすには学生自身の意思が必要だということです。

「自分のリーダーは自分自身」という言葉があります。皆さんの成長を導くのは誰よりも皆さん自身です。ひとり一人が自分の目指す姿を心に描き、これからの学びの中で、そこに近づくべく人間性と専門性を高めていくことを期待しています。

皆さんの大きな成長を願い、私の式辞といたします。

令和6年4月5日

八戸学院大学短期大学部 学長 杉山 幸子

八戸学院大学 令和6年度 学位記授与式 式辞

春の訪れを告げる暖かな日差しが注ぐこの良き日に、学位記・修了証書授与式を迎えられました八戸学院大学各学部と別科の皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。

これまで長きにわたり、ご子弟に寄り添ってこられたご家族・ご親族の皆様へも心よりお祝いを申し上げます。

また、この学位記・修了証書授与式にご臨席を賜りました、八戸市長・熊谷雄一様をはじめ、ご来賓の皆様へ御礼を申し上げます。

本日、八戸学院大学は、2学部・3学科から総数229名が、社会人として新たな一歩を、または、大学院へ進学し学びを深める一歩を、おのおの踏み出します。

別科助産専攻からは、本学において二期目の修了生4名を送り出します。

卒業生・修了生の皆さん、本日までの学生生活で、どのような思い出が、今、皆さんのまぶたの中で蘇っているのでしょうか？

明日に輝く自分を、とらえることができましたか？あなたが自信を持って仲間へ伝えることが出来る成果を少なくとも一つはしっかりと、掴むことができましたか？美保野で紡いだ思い出の日々を、未来のあなたが是非、抱きしめ

続けてください。皆さんの学生生活において、一定期間は新しい生活様式としての様々な制限が求められたキャンパスライフでした。一方で、本学の建学の精神の下で学び、いよいよ卒業・修了を迎えられた皆さんの多くの幅広い、豊かな経験が、人間力あふれる唯一無二の「光り輝く」卒業生・修了生の一人ひとりを育てたと、私は確信しています。

本日、卒業の皆さんのお手元へ届けられたアルバムの中で、私はある言葉を引用いたしました。その言葉とは、「夢なき者に成功無し」というものです。これは、古く、明治維新に活躍した多くの若人を育てた吉田松陰の教えです。ここでいう「夢」とは、私利私欲、名誉名声のためではなく、高く掲げた志を意味します。様々な希望と熱き情熱に満ち溢れる皆さんのこれからの歩みにおいて、心に留めていただきたい言葉です。高く掲げた志・「夢」にたどり着いていない人も、これまでの本学の学びを通して、いつかの日にか、きっと出会えるはずです。

美保野から旅立つ皆さんの学びは、今日で終わるものではありません。人生が、学びの場であり、学びの連続です。これから始まる新たな人生における自らの未来について、家族の、職場の、地域・国家の行く末について、思いを馳せて、心の中にしっかりと、志を高々と掲げ、計画し、実行し、夢の実現に向けて、挑戦を続けてください。皆さん一人ひとりが人生の成功者となることを、私は強く信じています。

結びに、皆さんのキャンパスライフに日々寄り添った本学の教職員と共に、そして、同じ美保野のキャンパスで学んできた短期大学部の卒業生の皆さんと一緒に、本学・学位記・修了証書授与式を挙行できますことは、私の大きな喜びであることを申し添えて式辞といたします。

令和7年3月18日

八戸学院大学 学長 水野眞佐夫

八戸学院大学短期大学部 令和6年度 学位記授与式 式辞

名残の雪も儚く消え、日差しにはうららかな春の訪れをはっきりと感じられるようになりました。一見枯れ草に覆われた地面にも、よく見ると柔らかな緑や早春の可憐な草花が顔をのぞかせ、山では鶯も鳴き出している希望に満ちたこの季節に、皆さんの旅立ちを祝うことが叶い、教職員一同、喜びに堪えません。幼児保育学科46名、介護福祉学科35名の皆さん、ご卒業誠にありがとうございます。これまで本学の教育活動にご理解とご協力を賜り、ご子息、ご息女を見守り応援してこられたご家族の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。重ねて、本日も列席賜りましたご来賓の方々に厚く御礼申し上げます。

皆さんは2年前にそれぞれ専門職に就くことを目標として本学の門をくぐり、慌ただしく凝縮された月日を送ってきました。学内での授業だけでなく、行事やボランティアで地域に出ることも多く、本学の学生として大いに力を発揮し、誇らしい活躍をしてくださいました。一方で実習では緊張のために思うように力を発揮できず、涙を流したこともあったかもしれません。学業とアルバイトの両立に苦労した人もいるでしょう。そうした日々、皆さんの周りには常に目標を共有する仲間が存在がありました。学生生活の大きな魅力は、そこにあると思います。

楽しいことも辛いことも一緒に経験する中で、友という宝を得た人は幸いです。しかし、これから皆さんはひとりの大人としてそれぞれが社会に出て、自分の道を歩んでいきます。その皆さんに大切にしてほしいと願うのは、何よりも自分の足で立ち、自分自身を頼りとするということです。自分で明かりを灯すという字を書いて、自灯明という言葉があります。お釈迦様が残した言葉で、他人に寄りかかったり惑わされたりせず、自分の内面を見つめ、自分自身を拠り所とせよと解釈されます。インターネット上に情報があふれ、SNSで他者と簡単に繋がることのできる現在、私たちは夜明かりに群がる虫のように、それに振り回されている気がします。人生がそれによって左右されてしまう場合すらあります。情報収集や信頼できる人に相談することは大切ですが、何事も鵜呑みにせず、自分で考え、判断する、自分の進む道は自分で照らすという姿勢を忘れてはならないと思います。

そして最後にひとつ、特に幼児保育学科の皆さんに思い出していただきたいことがあります。学生の中には途中で別の道に進んだ人や、今は休んでいる人もいますが、中にひとり、帰らぬ人となった同級生がいるということです。彼は皆さんよりもかなり年を経たから保育者という目標を見つけ、本学に入学しましたが、不慮の事故によって、一度も長い実習を経験することなく生涯を閉じました。教室で定位置に座り、ノートを取っていた彼の姿は忘れられません。

本日学位記を授与された方全員がそうした人がいたということを心の片隅に留め、無事学業を達成できた幸せを噛みしめていただけたらと願っています。

皆さんの今後の活躍に期待し、未来に光明あらんことを祈ります。

令和7年3月18日

八戸学院大学短期大学部 学長 杉山 幸子

会 議

①大学運営会議開催

令和6年	4月17日(水)	5月15日(水)	6月19日(水)
	7月17日(水)	9月18日(水)	10月16日(水)
	11月20日(水)	12月11日(水)	
令和7年	1月15日(水)	2月12日(水)	3月12日(水)

②教授会開催

[大学]

○全学教授会

令和6年	4月1日(月)	4月24日(水)	5月22日(水)
	6月26日(水)	7月24日(水)	9月25日(水)
	10月23日(水)	11月27日(水)	12月18日(水)
令和7年	1月22日(水)	2月19日(水)	2月28日(金)
	3月19日(水)		

[短期大学部]

○全学教授会

令和6年	4月1日(月)	4月25日(水)	5月21日(水)
	6月27日(水)	7月25日(水)	9月26日(水)
	10月24日(水)	11月28日(水)	12月19日(水)
令和7年	1月23日(水)	2月20日(水)	2月28日(金)
	3月21日(金)		

人 事

(1) 採用

令和6年4月1日付

○健康医療学部人間健康学科

教 授 三本木 温

○健康医療学部看護学科

特任教授 田 中 完

助 教 野 崎 悦 子

○幼児保育学科

教 授 三 上 幾 子

○地域連携研究センター

教 授 福 田 弥 夫

○事務局

主 事 平 塚 薫 (教学部就職課)

主事・舎監 堀 江 拓 矢 (教学部教務課)

主 事 高 見 啓 太 (入試広報部広報課)

主 事 有 光 ちひろ (地域連携研究センター事務室)

令和6年6月17日付

○事務局

パート職員 田名部 厚 子 (短期大学部保健室)

令和6年7月1日付

○事務局

主 事 本 間 紗 斗 (入試広報部入試課)

令和6年9月1日付

○地域経営学部地域経営学科

助 教 埴 原 啓 正

○健康医療学部人間健康学科

准 教 授 阿 部 俊 彦

助 教 今 川 ゆ き

(2) 昇任

令和6年4月1日付

○地域経営学部地域経営学科

准教授 井上 丹
准教授 横田 将志

○健康医療学部人間健康学科

教授 佐藤 千恵子
教授 渡邉 陵由
准教授 有光 琢磨
講師 泉水 朝宏

○健康医療学部看護学科

准教授 久保 宣子
講師 柴生田 英香

○事務局

課長 金入 教人
参事 新沼 貴志
課長補佐 高屋敷 好孝
係長 橘 佳奈美
主任 力 石 暁
主任 白井 大介

(3) 職名変更

○事務局

課長 工藤 美那子
主事・舎監 中村 健

(4) 併任・兼務

令和6年4月1日付

○地域経営学部地域経営学科

教授 田中 哲 八戸学院大学学長補佐
教授 村本 卓 地域経営学部長
教授 高須 則行 地域経営学科長
准教授 楊 麗 栄 八戸学院国際教育局 副局長

○健康医療学部人間健康学科

教授 遠藤 守人 八戸学院理事長補佐
教授 吉田 守実 健康医療学部長・人間健康学科長
教授 小澤 昭夫 学長特別補佐
教授 三本木 温 学長補佐・スポーツ局局長
教授 井元 紀子 学科長補佐

○健康医療学部看護学科

教授 田中 克枝 看護学科長
特任教授 田中 完 健康管理局局長

○別科助産専攻

教授 高橋 雪子 別科助産専攻長

○短期大学部学長

教授 杉山 幸子 八戸学院幼稚園長

○短期大学部幼児保育学科

教授 加藤 康子 八戸学院大学短期大学部学長補佐
八戸学院第二しのめ幼稚園長
教授 澤井 睦美 幼児保育学科長

○短期大学部介護福祉学科

教授 柏葉 英美 介護福祉学科長
教授 小川 あゆみ 介護福祉学科長補佐

○事務局

次長 早川 幸久 教務課長
課長 工藤 美那子 大学評価支援室長／監査室員
課長補佐 高屋敷 好孝 大学評価支援室員

(5) 配置転換

令和6年4月1日付

○地域経営学部地域経営学科

講師 川守田 景子 (地域連携研究センターから)

○事務局

部長 岡沼 真由美 (学務部から入試広報部へ)
課長 村本 景 (学務課から入試広報部入試課へ)
係長 坂野 仁志
(短期大学部事務室から入試広報部広報課へ)
室長・係長 金田一 春香
(地域連携研究センターから短期大学部事務室へ)
係長 加藤 智恵
(学務部教務学生課から入試広報部入試課へ)

(6) 転出

令和6年4月1日付

○事務局

課長補佐 安田 久美子 (総務部総務課へ)
主事 武田 裕大 (総務部総務課へ)
主事 蛭沢 眞子 (総務部総務課へ)
係長 佐藤 裕次 (総務部管財課へ)
参事 岩本 寿生 (総務部管財課体育館事務室へ)
嘱託 吉田 正幸 (総務部管財課体育館事務室へ)

(7) 転入

令和6年4月1日付

○事務局

事務統括 岩浪 始由 (法人事務局から)
担当部長 松山 政義 (事務局総務部から)
次長 藤原 真史 (総務部から)

(8) 退職

令和6年6月30日付

○入試広報部入試課

主事 小田桐 蒼

令和6年9月30日付

○入試広報部

部長 岡沼 真由美

令和7年3月31日付

○健康医療学部人間健康学科

教授 小澤 昭夫

○健康医療学部看護学科

教授 高橋 正知
教授 吉岡 幸子
准教授 久保 宣子
講師 西川 健

○幼児保育学科

教授 田中 敬一
准教授 池田 拓馬
講師 船山 哲郎

○教育研究支援室

教授 中村 修

○事務局

事務統括 岩浪 始由
担当部長 松山 政義

(9) 客員教授

[大学]

令和6年4月1日付

◎客員教授

榎谷 伸夫
鶴見 浩一郎
遠山 晴一

湯 田 淳
令和6年5月1日付
〔短大〕
◎客員教授
中 嶋 美 華

組 織

〔大学〕

学 長 水 野 眞佐夫
運 営 会 議 議 長 小 林 眞
学 長 補 佐 田 中 哲
三本木 温
学 長 特 別 補 佐 小 澤 昭 夫
地域経営学部 長 村 本 卓
地域経営学科 長 高 須 則 行
健康医療学部 長 吉 田 守 実
人間健康学科 長 吉 田 守 実
人間健康学科 長 補 佐 井 元 紀 子
看護学科 長 田 中 克 枝 子
別科助産専攻 長 高 橋 雪 子

〔短期大学部〕

学 長 杉 山 幸 子
学 長 補 佐 加 藤 康 子
幼児保育学科 長 加 澤 井 睦 美
介護福祉学科 長 柏 葉 英 美
介護福祉学科 長 補 佐 小 川 あゆみ

◎学長直轄

○IR推進室

室 長 村 本 卓
副 室 長 野 口 和 也
室 員 田 村 正 文
埴 原 啓 正 (令和6年9月から)
吉 平 塚 和 也
千 高 橋 英 成
岡 幸 子

○自己点検評価委員会

委 員 長 幸 田 威久矢
〔大学〕
副 委 員 長 村 本 卓
委 員 高 須 則 行 吉 田 守 実
小 澤 昭 夫 高 橋 雪 子
小 沢 久美子

〔短期大学部〕

副 委 員 長 三 上 幾 子
委 員 鳴 海 孝 彦 高 橋 英 成

○学生相談・特別支援室

室 長 木 村 緑
副 室 長 野 口 和 也
室 員 木 村 浩 哉 金 地 美知彦
宮 澤 君 子 (令和6年9月から)
今 川 ゆ 香 鳴 海 孝 彦
柴生田 英

◎学長方針PJT

○情報交換会

小 林 眞 眞 杉 山 幸 子
水 野 眞 佐 村 本 卓
田 中 須 則 三 本 温
高 吉 田 守 行 実 枝
高 橋 雪 子 美
澤 井 睦 美

○建学の精神PJT

杉 山 幸 子 石 原 良 明

○教育DX PJT

責 任 者 坂 本 貴 博
担 当 村 本 光 琢 卓 磨
有 市 川 裕 美 子
池 田 拓 馬 馬 石 藤 高 場 原 邊 橋 祥 良 祐 英 次 明 子 成

◎委員会

○入学者選抜委員会

委 員 長 田 中 哲 子
副 委 員 長 加 藤 康 眞 佐 夫
委 員 水 村 吉 高 柏 田 馬 三 上 幾 子
杉 山 幸 子
高 須 中 井 川 来 波 浦 文 伸 樹 恵

○学費等減免選考委員会

委 員 長 田 中 哲
委 員 水 野 眞 眞 佐 夫
村 本 守 卓 実 子
吉 高 橋 雪 子 美 文
柏 葉 村 波 直 樹
田 差 波 直 樹

○教育ローン利子補給奨学金審査委員会

委 員 長 吉 田 守 実
委 員 村 本 克 卓 枝
田 中 井 睦 美 文
澤 田 正 文 高 須 則 行
高 橋 葉 波 高 橋 雪 英 直 樹

○研究倫理委員会

委 員 長 遠 藤 光 男
副 委 員 長 金 地 良 知 彦
委 員 奈 高 本 吉 正 卓 知 好
千 古 葉 館 啓 子
美 喜 子

○教務委員会

〔大学〕
委 員 長 加 来 聡 伸
副 委 員 長 有 光 琢 磨
委 員 崔 木 沢 久 美 子
横 田 将 志
泉 水 朝 宏
切 明 美 保 子

・教職課程担当					溝藤根渡泉	江邊城邊水	弓祐隆陵朝	恵子幸由宏	西野木浜宮	川崎村中澤	悦浩のり子	健子哉子
	〔短期大学部〕											
委員長	小池三鈴	川田上幾木	あゆみ拓馬子美									
副委員長				鈴木康弘								
○ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会												
委員長	石池奈渡今吉西高	原田良邊川岡橋	良拓卓由幸英									
副委員長				井上丹								
(令和6年9月から)												
三浦山 船 廣 哲 郎												
○学生委員会												
〔大学〕												
委員長	田大G. 埴阿立坂堺箒	村木アンソニー 原部石本	正文えりか 正啓俊真弘香奈さと子	(令和6年9月から)								
副委員長				(令和6年9月から)								
泉 水 朝 宏 古 館 美 喜 子 前 森 桃 子												
〔短期大学部〕												
委員長	差波直樹	波館亜沙美										
副委員長	岩中嶋			橋本知子								
○就職支援委員会												
〔大学〕												
委員長	井宮川立坂小	上澤田石本出	丹君子司弘み子									
副委員長				佐藤千恵子 築場理利子 佐々木真湖								
〔短期大学部〕												
委員長	天岩橋	摩館本	雅和亜沙美知子									
副委員長				坂本利枝子								
○広報委員会												
委員長	工加木浜阿立久日船鈴	藤藤村中部石保當山木	祐太郎子哉のり彦司子とみ郎美									
副委員長				楊麗栄								
(令和6年9月から)												
木村吉川 堺 本 小												
緑 香奈子 好 あゆみ												

別科長選考規程

- 八戸学院大学短期大学部防火管理規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学外共同研究規程
- 八戸学院サテライトキャンパス利用規則
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外国人留学生規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学費納付規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における修業年限を超えて在学する者の学費納入規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部再入学者および復籍者に関する納入金等に関する規程
- 八戸学院大学履修規程
- 八戸学院大学教職課程履修規程
- 八戸学院大学科目等履修生規程
- 八戸学院大学学長推薦状交付基準
- 八戸学院大学春学期卒業に関する内規
- 八戸学院大学短期大学部履修規程
- 八戸学院大学短期大学部転科に関する規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部証明書交付手数料徴収規程
- 八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部活動奨励金規程
- 八戸学院図書館規程細則
- 八戸学院地域連携研究センター規程

<廃止>

令和7年3月31日付け

- 八戸学院大学短期大学部前期卒業に関する内規
- 八戸学院大学短期大学部科目等履修生規程

諸 報 (外郭三団体)

[大学]

- ・後援会令和5年度会計監査
令和6年6月20日(木)
- ・同窓会令和5年度会計監査
令和6年6月18日(火)
- ・父母の会令和5年度会計監査
令和6年6月19日(木)
- ・後援会常任理事会
令和6年7月3日(水)
- ・後援会理事会
令和6年7月3日(水)
- ・同窓会役員会
令和6年6月20日(木)
- ・同窓会評議員会
令和6年6月20日(木)
- ・父母の会役員会
令和6年6月26日(水)
- ・父母の会総会
令和6年6月26日(水)
- ・八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外郭三団体合同懇談会
令和7年3月26日(水)グランドサンピア八戸

[短期大学部]

- ・後援会令和5年度会計監査
令和6年6月6日(水)

- ・後援会常任理事会
令和6年7月1日(月)
- ・後援会理事会
令和6年7月1日(月)
- ・同窓会令和5年度会計監査
令和6年6月6日(水)
- ・同窓会理事会
令和6年7月4日(木)
- ・同窓会総会
令和6年7月4日(木)
- ・同窓会役員会
令和6年12月26日(木)
- ・父母の会令和5年度会計監査
令和6年6月6日(水)
- ・父母の会常任理事会
令和6年7月11日(木)
- ・父母の会総会
令和6年7月11日(木)
- ・父母の会学業相談・保護者面談会
令和6年9月30日(土)
- ・八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外郭三団体合同懇談会
令和7年3月26日(水)

諸 報 (式典)

(1) 2024年度入学式

2024年度入学式が、2024年4月5日(金)14時から、八戸学院総合体育館において挙行されました。地域経営学科入学生77名(転入生1名含む)、人間健康学科入学生89名(編入生1名、転入生1名含む)、看護学科入学生46名(編入生1名含む)、別科助産専攻入学生4名、幼児保育学科入学生55名(委託生1名含む)、介護福祉学科入学生11名(留学生2名含む)の入学が許可されました。

(2) 2024学位記・修了証書授与式

2024年度学位記・修了証書授与式が、2025年3月18日(火)14時から、八戸市公会堂において挙行されました。地域経営学科卒業生85名、人間健康学科卒業生89名、看護学科卒業生61名、別科助産専攻修了生4名、幼児保育学科卒業生46名、介護福祉学科卒業生35名に学位記・修了証書が授与されました。

諸 報

(1) 入学者選抜委員会

○庶務日誌摘録

- 第1回 令和6年10月22日(火)
- 第2回 令和6年11月22日(金)
- 第3回 令和6年12月17日(火)
- 第4回 令和7年1月28日(火)
- 第5回 令和7年2月10日(月)
- 第6回 令和7年2月25日(火)
- 第7回 令和7年3月11日(火)

(2) 学費等減免選考委員会

○学費等減免選考委員会

庶務日誌摘録

- ・令和6年5月16日(木)
- ・令和6年6月25日(火)
- ・令和6年7月11日(木)
- ・令和6年8月1日(木)
- ・令和6年12月10日(火)
- ・令和7年3月17日(月)

(3) 教育ローン利子補給奨学金審査委員会

○庶務日誌摘録

令和7年3月12日(水)

(4) IR推進室

①事業内容

- ティーチングポートフォリオ継続実施
- ルーブリック評価継続実施
- 卒業時アンケート継続実施
- アセスメントポリシー推進
- ディプロマ・サプリメント実施
- IR研修会

②庶務日誌摘録

- IR推進室会議

令和6年5月10日(金)

(5) 自己点検評価委員会

[大学]

①「令和6年度八戸学院大学自己点検評価書」発行

- ・令和6年10月

②庶務日誌摘録

- 自己点検評価委員会会議

令和6年5月14日(火) 大学・短大合同

令和6年7月23日(火)

令和6年7月26日(金)

令和6年12月4日(水) 大学・短大合同

[短期大学部]

①「令和6年度八戸学院大学短期大学部自己点検評価書」

発行

- ・令和6年10月

②庶務日誌摘録

- 自己点検評価委員会会議

令和6年5月14日(火) 大学・短大合同

令和6年6月4日(火)

令和6年6月5日(火)

令和6年12月4日(水) 大学・短大合同

(6) 学生相談・特別支援室

①学内研修会

- ・令和6年度学生相談・特別支援室学内研修会

テーマ：「アカデミックハラスメント：～学生とのかかわりの中で距離感や熱心な指導について考える」

講師：たいよう総合法律経済事務所 源新 明 氏

開催日：令和6年11月26日(火)

場所：大学5号館520講義室（対面・オンデマンド）

②学外研修会

- ・「令和6年度心の問題と成長支援ワークショップ」

主催：日本学生支援機構

開催日：令和6年7月30日(火)～31日(水)

開催方式：参集開催

参加者：柴生田英香（学生相談・特別支援室）

- ・「第62回 全国学生相談研修会 第1部」

主催：一般社団法人日本学生相談学会

開催日：令和6年11月15日(金)

開催方式：オンライン開催

参加者：金地 美知彦（学生相談・特別支援室員）

- ・「第62回 全国学生相談研修会 第2部」

主催：一般社団法人日本学生相談学会

開催日：令和6年11月23日(土)～24日(日)

開催方式：参集開催

参加者：金地 美知彦（学生相談・特別支援室員）

- ・「令和6年度東北地区学生指導研修会」

主催：東北地区学生指導研究会

開催日：令和6年9月19日(木)～20日(金)

開催方式：参集開催

参加者：金入教人（学生相談・特別支援室担当事務）

- ・「令和6年度 障害学生支援に係る青森県内高等教育機関との連携及び情報交換会」

主催：弘前大学

開催日：令和7年2月14日(金)

開催方式：オンライン開催

参加者：金入教人（学生相談・特別支援室担当事務）

③庶務日誌摘録

第1回 令和6年4月8日(月)

第2回 令和6年5月13日(月)

第3回 令和6年6月3日(月)

第4回 令和6年7月1日(月)

第5回 令和6年9月2日(月)

第6回 令和6年10月7日(月)

第7回 令和6年11月11日(月)

第8回 令和6年12月2日(月)

第9回 令和7年2月3日(月)

第10回 令和7年3月3日(月)

(7) 研究倫理委員会

- 第1回委員会（令和6年6月24日(月)開催）

申請18件（承認15件、条件付承認3件）

- ・簡易床反力計を用いた椅子立ち上がり動作による脚筋力評価の検討

（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 教授 三本木 温）

- ・名前の呼ばれ方と中学生の自己有用感の関連

（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 教授 浜 中 のり子）

- ・南部町転倒・寝たきり予防教室における体力測定

（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 講師 工 藤 祐太郎）

- ・坂道歩行時の筋活動および関節運動に下肢筋力差が及ぼす影響

（研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 講師 泉水 朝 宏）

- ・看護大学生の研究動機に繋がる学びの分析－基礎看護学実習で出会った状況や場面に焦点をあてて－

- (研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 小沢 久美子)
- ・子育て期女性の飲酒事例に関する支援内容～保健師へのインタビュー調査を通して～
(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 吉岡 幸子)
 - ・高齢者施設実習における看護大学生の学びに関する研究
(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 准教授 切明 美保子)
 - ・看護大学生の就職活動に影響する情報と支援のあり方
(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 准教授 坂本 弘子)
 - ・ヤングケアラー、若者ケアラーの現状とダブルケア支援の検討－地域包括支援センター 保健師からのインタビュー調査から－
(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 講師 古舘 美喜子)
 - ・(仮) 女子大生の子宮頸がん・乳がんに関する意識調査
(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 助教 足澤 ちか子)
 - ・新生児がNICUに入院し母子分離となった母親の体験
(研究責任者：八戸学院大学 別科助産専攻 講師 藤 遼祐子)
 - ・未就学児対象の健康教室企画・運営が学生に与える教育効果に対する研究 (仮)
(研究責任者：八戸学院大学 別科助産専攻 助教 前 森 桃子)
 - ・ICTを活用したピアノレッスン・弾き歌いの練習時間・内容・学修成果の可視化に向けた研究
(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授 中嶋 栄子)
 - ・就学前施設に通園する幼児の体力・運動能力、身体活動量および運動習慣の縦断的研究
(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 講師 本吉 好)
 - ・青森県八戸市内および三戸郡内小学校における音楽系部活動の実態と課題について
(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 講師 坂本 利枝子)
 - ・災害時の福祉支援体制の整備にかかる研修内容に関する考察～令和6年能登半島地震の活動より～
(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 准教授 鳴海 孝彦)
 - ・自然災害に備えた成年後見活動についてのインタビュー調査
(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 講師 高橋 英成)
 - ・介護福祉士養成校卒業生の意識調査について－本学卒業生の動向調査から－
(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 講師 岩 舘 亜沙美)
- 第2回委員会 (令和6年12月2日(月)開催)
申請7件 (承認7件)
- ・アスリート学生を対象とした学修支援システムの構築に向けた基礎的研究
(八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 教授 三本木 温)
 - ・知的障がい者の社会参加と生活の質に関する実態調査

- (八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 教授 井 元 紀 子)
- ・健康増進を目指した参加者の主体的な参加意欲を引き出すための調査研究
(八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 准教授 有 光 琢 磨)
 - ・ラグビーは成長期の骨を強くするのか
(八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 講師 平 塚 和 也)
 - ・地域住民と多職種多機関職員が協働して不衛生家屋が改善したセルフ・ネグレクト事例の分析
(八戸学院大学 健康医療学部看護学科 教授 吉岡 幸子)
 - ・認知症高齢者の理解を深める協同学習型老年看護過程教育プログラムの実施と評価
(八戸学院大学 健康医療学部看護学科 講師 溝江 弓恵)
 - ・ハンドマッサージのストレス緩和に関する研究
(八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 教授 柏 葉 英 美)

(8) 教務委員会

①各賞受賞者 (2024年度卒業生)

[大学]

〈理事長特別賞〉

- ・小 原 乃 亜 (健康医療学部人間健康学科)

〈学長賞〉

- ・後 藤 乃 愛 (地域経営学部地域経営学科)
- ・和 平 美南海 (健康医療学部人間健康学科)
- ・塚 原 彩 乃 (健康医療学部看護学科)
- ・幅 野 陽 香 (別科助産専攻)

〈優等賞〉

- ・中 野 夏 見 (地域経営学部地域経営学科)
- ・小 泉 沙 菜 (地域経営学部地域経営学科)
- ・赤 石 知 観 (健康医療学部人間健康学科)
- ・山 内 李 遊 (健康医療学部人間健康学科)
- ・倉 間 奈々絵 (健康医療学部看護学科)
- ・木 下 朋 美 (健康医療学部看護学科)

〈(一社) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟優秀者表彰〉

- ・大 橋 翔 (健康医療学部人間健康学科)

〈(一社) 日本私立看護系大学協会会長賞〉

- ・安 藤 亜 実 (健康医療学部看護学科)

[短期大学部]

〈学長賞〉

- ・姥 神 花 怜 (幼児保育学科)
- ・前 森 翔 子 (介護福祉学科)

〈優等賞〉

- ・小笠原 佳 音 (幼児保育学科)
- ・松 橋 実 咲 (幼児保育学科)
- ・木 村 沙 希 (介護福祉学科)
- ・野 月 千芽子 (介護福祉学科)

〈(一社) 全国保育士養成協議会会長賞〉

- ・内 城 美 咲 (幼児保育学科)

〈(公社) 日本介護福祉士養成施設協会会長賞〉

- ・齋 藤 朱 美 (介護福祉学科)

②教員免許状等取得者

[大学]

高校教諭一種：商業	2名
高校教諭一種：情報	7名
中学校教諭一種：保健体育	12名

- 高校教諭一種：保健体育 22名
 中学校教諭一種：保健 2名
 高校教諭一種：保健 2名
 高校教諭一種：看護 2名
 養護教諭一種 15名
 [短期大学部]
 幼稚園教諭二種免許 39名
 保育士 42名
- ③学事暦
 [大学]
 《春学期》4月8日(月)～7月26日(金) (各学科共通)
 《秋学期》9月9日(月)～1月23日(木) (地域経営学科、人間健康学科、看護学科1・4年生)
 9月2日(月)～1月14日(火) (看護学科2・3年生)
 [短期大学部]
 《前期》4月2日(火)～7月23日(火) (幼児保育学科2年生)
 4月8日(月)～7月26日(金) (幼児保育学科1年生、介護福祉学科)
 《後期》9月1日(月)～12月23日(月) (幼児保育学科1年生)
 9月30日(月)～1月31日(金) (介護福祉学科1年生)
 10月1日(火)～1月31日(金) (幼児保育学科2年生、介護福祉学科2年生)
- ④集中講義の実施状況<日程・科目名(担当教員)>
 《春学期》8月7日(水)～8月8日(木)
 災害看護活動論(坂本 弘子)
 8月19日(月)～8月21日(水)
 行動の科学(石岡 れい子)
 教育方法論(ICT活用含む)(森本 洋介)
 8月22日(水)～8月26日(日)
 流通経済論(中居 裕)
 児童心理学(油川 さゆり)
 8月27日(火)～8月30日(金)
 地域イノベーション・マネジメント(堤 静子)
 総合的な学習の時間の指導法(富澤 美千子)
 スケート(田名部 和彦)
 《秋学期》1月6日(月)～1月8日(水)
 地域経営学特殊講義Ⅲ(井上 丹)
 スポーツ心理学(栗木 一博)
 1月9日(木)～1月14日(火)
 ヘルスカウンセリング(瀧澤 志穂)
 1月9日(木)～1月15日(水)
 学校保健(学校安全を含む)(中村 尚子)
 1月31日(金)・2月3日(月)
 フットボールスポーツ(工藤 祐太郎)
 2月3日(月)～2月7日(金)
 薬理概論(寺田 淳)
 2月4日(火)～2月5日(水)・2月7日(金)
 体育原理(平塚 和也)
 2月11日(火)～2月13日(木)
 スキー(渡邊 陵由、有光 琢磨、工藤 祐太郎、平塚 和也、泉水 朝宏)
- ⑤学外会議
 ・東北地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2024年度総会・春季研究大会
 開催日：令和6年5月11日(土)
 場所：AER(アエル) 30階 会議室
 出席者：早川 幸久(教学部次長・教学部教務課課長)

- ・第73回東北・北海道地区高等教育研究会
 開催日：令和6年9月5日(木)・6日(金)
 場所：秋田大学
 出席者：楊 麗栄(地域経営学部地域経営学科 准教授)
- ・東北地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2024年度総会・秋季研究大会
 開催日：令和6年12月7日(土)
 場所：東北福祉大学仙台駅東口キャンパス
 出席者：根城 隆幸(地域経営学部地域経営学科 教授)
 畠山 文絵(教学部教務課係長)
- ⑥庶務日誌摘録
 [大学]
 令和6年 4月10日(水) 5月8日(水) 6月12日(水)
 7月10日(水) 9月11日(水) 10月9日(水)
 11月13日(水) 12月11日(水)
 令和7年 1月8日(水) 2月3日(月) 2月26日(水)
 3月5日(水)
 [短期大学部]
 令和6年 4月4日(水) 5月2日(水) 6月6日(水)
 7月4日(水) 9月5日(水) 10月3日(水)
 11月7日(水) 12月3日(火)
 令和7年 1月7日(火) 2月6日(水) 2月25日(火)
 3月6日(水)
- (9) ファカルティ・デベロップメント(FD)委員会
 ①学外会議
 ・第32回FDネットワーク“つばさ”FD協議会
 開催日：令和6年6月28日(金) ※オンラインによるハイブリッド開催
 出席者：石原 良明(八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 准教授)
- ②実施事業(学内研修会・公開授業等)
 ・新任教員向けはちがくキャンパスWeb研修会
 開催日：令和6年4月3日(水)
 会場：7号館2階721講義室
 講師：馬場 祥次(八戸学院大学地域経営学部地域経営学科 准教授)
 参加者：8名
- ・令和6年度FD研修会
 開催日：令和6年10月30日(水)
 会場：5号館2階520講義室
 講師：邑本 俊亮(東北大学 災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 教授)
 参加者：大学・短大教員 90名
- ・公開授業
 ①講義日：令和6年9月24日(火) 2時限目(録画配信あり)
 科目名：地域スポーツ論
 担当：三本木 温(八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 教授)
- ②講義日：令和6年9月25日(水) 3時限目(録画配信あり)
 科目名：成人看護援助論Ⅱ
 担当：市川 裕美子(八戸学院大学健康医療学部看護学科 准教授)
- ③講義日：令和6年9月26日(木) 2時限目(録画配信あり)
 科目名：人的資源管理
 担当：井上 丹(八戸学院大学地域経営学部地域経営

学科 准教授)

④講義日：令和6年10月8日(火) 2時限目(録画配信あり)
科目名：体育概論
担 当：本吉 好(八戸学院大学短期大学部幼児保育学
科 講師)

⑤講義日：令和6年11月12日(火) 1時限目(録画配信あり)
科目名：コミュニケーション技術 I
担 当：小川 あゆみ(八戸学院大学短期大学部介護福
祉学科 教授)

③ 庶務日誌摘録

令和6年 4月19日(金) 5月16日(木) 6月20日(木)
7月18日(木) 9月19日(木) 10月17日(木)
11月20日(木) 12月12日(木)
令和7年 1月16日(木) 3月7日(金)

(10) 学生委員会

[大学学生委員会]

委員長 田村正文
副委員長 大木えりか
委 員 グレゴリー・アンソニー 埴原 啓正
立石 真司 阿部 俊彦 泉水 朝宏
坂本 弘子 古舘美喜子 堺 香奈子
簀 さと子 前森 桃子

・学生委員会庶務日誌摘録

第1回 令和6年4月15日(月)
第2回 令和6年5月13日(月)
第3回 令和6年6月3日(月)
第4回 令和6年7月1日(月)
第5回 令和6年9月2日(月)
第6回 令和6年10月7日(月)
第7回 令和6年11月11日(月)
第8回 令和6年12月2日(月)
第9回 令和7年1月14日(火)
第10回 令和7年2月10日(月)
第11回 令和7年3月10日(月)

①学生委員会学外会議

なし

②学生委員会学内行事

- ・2024年度定期健康診断
開催日：2024年4月2日(火)、4日(木)、23日(火)、25日(木)、
27日(金)
場 所：八戸市総合健診センター
受診者：871名
- ・2024年度日本学生支援機構奨学金「予約採用説明会」
開催日：2024年4月5日(金)
場 所：520講義室
- ・2024年度日本学生支援機構奨学金「在学採用新規申込説
明会」
開催日：2024年4月9日(火)～12日(金)
場 所：520講義室
- ・2024年度第1回交通安全講習会
開催日：2024年4月3日(火)、4月4日(木)
場 所：520講義室、831講義室、832講義室(在学生)、
520講義室、330講義室、833講義室(新入生)
「【警察庁】交通事故から守ろう！子どもの命(運
転者編)」字幕あり」

受講生：743名

- ・2024年度日本学生支援機構奨学金「採用説明会」
開催日：2024年5月16日(木)、17日(金)
場 所：520講義室
- ・2024年度クラブ・サークル代表者会議
開催日：2024年5月1日(木)
場 所：320講義室
出席者：15団体
- ・2024年度学生大会
開催日：2024年5月2日(木)
場 所：520講義室 参加者253名
- ・2024年度学生生活にかかわる講演会
開催日：2024年6月17日(月)
場 所：520講義室
演 題：「特殊詐欺について他」
講 師：八戸警察署 生活安全課 南 真衣 氏
参加者：146名
- ・B B Q大会
開催日：2024年5月25日(土)
場 所：八戸学院大学5号館正面玄関前
参加者：85名
- ・eスポーツ2024
開催日：2024年7月20日(土)
場 所：5号館520講義室
参加者：20名
- ・はちがくフェス2024
開催日：2024年10月19日(土)～10月20日(日)
場 所：八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部 美保
野キャンパス
テーマ：「～ enjoy ～」
参加者：2,006名
- ・2024年度日本学生支援機構奨学金「返還説明会」
開催日：2024年11月13日(木)、11月21日(木)
場 所：520講義室
対象者：2024年度貸与者(4年生：卒業予定者)
- ・2024年度美保野キャンパスクリスマス企画
開催日：2024年12月12日(木)
場 所：520講義室
内 容：お祈り、ハンドベル演奏、軽音ライブ、抽選会
- ・2024年度日本学生支援機構奨学金「継続説明会」
開催日：2024年12月9日(月)、16日(月)
場 所：520教室
対象者：2024年度貸与者(4年生を除く)
- ・2024年度クラブ・サークル活動報告会
開催日：2024年12月20日(金)
場 所：グラントホテル
報告会および懇親パーティーをホテルで実施
- ・2025年度八戸学院大学学友会役員選挙
投票日：2025年2月3日(月)
選挙結果：○執行委員長
金入 俊輔(地域経営学部地域経営学科3年)
○副執行委員長
佐々木さや(健康医療学部人間健康学科2年)
○書記長
佐藤 祥美(地域経営学部地域経営学科3年)
菊地 奏志(健康医療学部人間健康学科3年)

③スポーツ戦績

◆硬式野球部

・春季リーグ

本学 3 - 1 ノースアジア大学
 本学 7 - 6 ノースアジア大学
 本学 7 - 0 岩手大学
 本学 8 - 0 岩手大学
 本学 7 - 5 青森大学
 本学 6 - 3 青森大学
 本学 4 - 2 青森中央学院大学
 本学 11 - 2 青森中央学院大学
 本学 2 - 3 富士大学
 本学 2 - 10 富士大学 優勝

・第73回全日本大学野球選手権大会

1回戦 本学 1 - 11 天理大学（阪神大学野球連盟）
 1回戦敗退

・新人戦（4/13～5/12）場所：

1回戦 本学 11 - 0 岩手県立大学
 2回戦 本学 6 - 2 岩手県立大学
 準決勝 本学 9 - 0 青森大学
 決勝 本学 2 - 0 富士大学 優勝

・秋季リーグ戦

本学 7 - 4 青森大学
 本学 1 - 0 青森大学
 本学 3 - 4 盛岡大学
 本学 10 - 3 盛岡大学
 本学 1 - 2 ノースアジア大学
 本学 1 - 3 青森中央学院大学
 本学 7 - 5 青森中央学院大学
 本学 3 - 5 富士大学
 本学 7 - 5 富士大学
 本学 7 - 1 ノースアジア大学 2位

・大館トーナメント大会（4/13～5/12）場所：

1回戦 本学 10 - 0 秋田県立大学
 2回戦 本学 4 - 0 青森中央学院大学
 準決勝 本学 10 - 5 八戸工業大学
 決勝 本学 2 - 7 青森大学 2位

◆男子サッカー部

・第104回天皇杯全日本サッカー選手権大会青森県代表決定戦

2回戦 本学 6 - 1 七戸サッカークラブ
 3回戦 本学 1 - 1 ブランデュー弘前FC
 （PK 4 - 5）ベスト4

・第48回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント東北予選

2回戦 本学 4 - 0 秋田大学
 準々決勝 本学 1 - 0 東北学院大学
 準決勝 本学 1 - 3 富士大学
 3位決定戦 本学 5 - 1 東北大学 3位

・東北大学サッカーリーグ1部（/～/）場所：八戸学院大学人工芝サッカー場他

本学 2 - 1 東北学院大学
 本学 4 - 0 東北大学
 本学 5 - 0 東北福祉大学
 本学 5 - 0 東日本国際大学
 本学 0 - 3 富士大学
 本学 2 - 0 仙台大学

本学 4 - 3 ノースアジア大学

本学 4 - 0 東北学院大学

本学 4 - 0 東北大学

本学 8 - 0 東北福祉大学

本学 9 - 0 東日本国際大学

本学 3 - 0 富士大学

本学 1 - 0 仙台大学

本学 0 - 0 ノースアジア大学 優勝

・2024年度第73回全日本大学サッカー選手権大会

予選ラウンド 本学 0 - 2 大阪体育大学

強化ラウンド 本学 1 - 3 中央大学

本学 2 - 2 広島大学

本学 4 - 3 四国学院大学

・インディペンデンスリーグ東北（/～/）場所：八戸学院大学人工芝サッカー場他

セカンドチーム 第2位（9勝1分2敗）

サードチーム 第1位（9勝1分2敗）

フォースチーム 第6位（2勝12敗）

・アットホームカップ2024第22回インディペンデンスリーグ

1回戦 本学 4 - 1 福山大学

2回戦 本学 2 - 3 新潟医療福祉大学

・第8回東北地区大学サッカー新人大会

予選グループステージ

本学 0 - 2 東北学院大学

本学 9 - 0 福島大学

決勝トーナメント

準決勝 本学 2 - 0 東北学院大学

決勝 本学 1 - 1 富士大学（PK 2 - 4）第2位

◆女子サッカー部

・THFA 東北女子サッカーリーグ

2部優勝（13勝1分）1部昇格

・皇后杯 青森県大会 優勝

・東北地域大学女子サッカーリーグ 1位通過

・全日本大学女子サッカー選手権大会

1回戦 本学 1 - 0 【新潟経営大学】

2回戦 本学 0 - 9 【帝京平成大学】 2回戦敗退

◆アイスホッケー部

・第4回盛岡市アイスリンクカップアイスホッケー大会

初戦 本学 10 - 4 岩手県少年

決戦 本学 12 - 2 岩手県社会人合同 優勝

・第25回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会

セカンドステージ

初戦 本学 15 - 1 京都産業大学

2回戦 本学 4 - 8 関西学院大学 ベスト8

・デーリー東北新聞社杯

第59回八戸市実業団アイスホッケーリーグ

本学 4 - 11 吉田産業

本学 11 - 2 八戸クラブ

本学 9 - 6 八戸ブルースターズ

本学 1 - 9 青い森信用金庫

本学 不戦勝 八戸工業大学 3位

・令和6年度東北地区学生アイスホッケー秋季大会

本学 13 - 1 東北福祉大学

本学 13 - 1 東北学院大学

本学 12 - 6 八戸工業大学 優勝

- ・令和6年度東北地区学生アイスホッケー選手権大会兼第97回日本学生氷上競技選手権大会東北地区予選
初戦 本学 10-1 東北福祉大学
決勝 本学 8-6 東北福祉大学 優勝
- ・第59回東奥日報社旗争奪青森県アイスホッケー大会
本学 0-8 青い森信用金庫
本学 8-4 八戸クラブ
本学 2-5 吉田産業
本学 3-6 高校選抜
本学 12-6 八戸工業大学
本学 6-3 八戸ブルースターズ 4位
- ・RAB杯第77回青森県アイスホッケー選手権大会
初戦 本学 6-3 八戸ブルースターズ
2回戦 本学 8-3 八戸クラブ
準決勝 本学 4-8 吉田産業 3位
- ・第97回日本学生氷上競技選手権大会男子ファーストディビジョン
初戦 本学 6-3 中央大学 初戦敗退

◆陸上競技部

- ・第77回 東北学生陸上競技対校選手権大会
男子走幅跳 6m95 第4位
男子やり投げ 59m74 第4位
男子三段跳 14m61 第3位
女子走高跳 1m55 第2位
女子400m 1.02.70 第7位
男子4×100mR 41.13 第5位
男子4×400mR 3.17.80 第7位
- ・第46回 北日本学生陸上競技対校選手権大会
男子100m 10.50 第7位
男子4×100mR 40.03 第2位
(全日本インカレ参加標準記録突破)
- ・第53回 東北学生陸上競技個人選手権大会
男子100m 10.26 第1位
男子100m 10.53 第2位
男子200m B決勝 21.95 第1位
男子400m 50.28 第6位
男子400mハードル 53.74 第1位
男子走幅跳 7m18 第1位
男子やり投げ 53m75 第5位
女子走高跳 1m50 第1位
男子4×100m R 41.44 第2位
男子4×400m R 3.20.96 第1位

◆男子バスケットボール部

- ・東北大学春季バスケットボール大会
本学 121-69 東北工業大学
本学 58-89 東北学院大学 2回戦敗退
- ・東北地区大学体育大会
本学 113-67 東北工業大学
本学 87-92 東北学院大学 2回戦敗退
- ・第45回青森県大学バスケットボール大会
2回戦 本学 94-84 弘前大学医学部
準決勝 本学 77-73 弘前大学
決 勝 本学 83-71 青森中央学院大学
- ・第25回東北大学バスケットボールリーグ1次リーグ
本学 72-57 青森中央学院大学

- 本学 89-67 富士大学
- 本学 75-63 東北学院大学
- 本学 64-101 仙台大学
- 本学 57-71 岩手大学 1次リーグ 2位
- ・第25回東北大学バスケットボールリーグ2次リーグ
本学 83-75 富士大学
本学 57-59 東北学院大学
本学 75-100 仙台大学
東北大学リーグ 3位/優秀選手賞 坂本 蓮
- ・2024全日本大学バスケットボール選手権大会
本学 61-121 名古屋学院大学
- ・第48回東北大学バスケットボールリーグ新人大会
2回戦 本学 125-60 東北工業大学
準々決勝 本学 80-84 岩手大学 ベスト8

◆女子バスケットボール部

- ・第45回東北大学春季バスケットボール大会
本学 116-44 岩手大学
本学 81-78 仙台大学
本学 65-87 東北学院大学 準優勝
敢闘賞 地域経営学科4年 大山美夢
優秀選手賞 人間健康学科4年 沼田舞愛
- ・全日本新人代表決定戦
本学 66-79 仙台大学
本学 72-81 東北学院大学 第3位
- ・第23回東北大学バスケットボールリーグ
1次リーグ
本学 74-55 富士大学
本学 89-62 青森中央学院大学
本学 165-21 岩手大学
本学 52-77 仙台大学
本学 56-67 東北学院大学
2次リーグ
本学 54-58 東北学院大学
本学 67-70 仙台大学
本学 86-63 富士大学 3位
優秀選手賞 地域経営学科4年 大山美夢
リバウンド王 人間健康学科3年 菊地美奈
- ・第46回東北大学新人大会
本学 132-26 宮城学院大学
本学 150-24 秋田大学
本学 54-71 仙台大学 2位
敢闘賞 人間健康学科2年 米谷日里
優秀選手賞 地域経営学科2年 小笠原幸香
新人王 人間健康学科1年 渡邊涼望
- ・第75回東北地区大学体育大会
本学 142-30 宮城学院大学
本学 94-73 青森中央学院大学
本学 64-81 仙台大学 優勝
- ・第45回青森県学生バスケットボール大会
本学 72-54 弘前大学
本学 102-36 弘前大学医学部
本学 93-59 青森中央学院大学 優勝
- ・第35回青森県学生交流バスケットボール大会
優勝
- ・第90回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会青森県予選

- 本学 75-73 A-BITS
 本学 91-54 SWEETY 優勝
 ・第90回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会
 青森県代表として出場
 本学 44-59 順天堂大学
 ・青森国体成年女子 6名選出

◆男子ラグビー部

- ・令和6年度 第75回東北地区大学体育大会
 場所：気仙沼市大川さくさ総合公園多目的グラウンド
 優勝
 ・イーハトーブリーグ
 場所：八幡平ラグビー場
 本学 22-33 ブレイズラガー
 本学 12-38 紫波オックス
 本学 88-0 岩手大学 優勝
 ・2024年度東北地区ラグビーリーグ
 本学 77-0 福島大学
 本学 不戦勝 岩手大学
 本学 124-0 盛岡大学
 本学 43-26 東北学院大学
 本学 33-22 東北大学
 東北地区1位通過 東北地区代表
 ・2025北日本ラグビー交流戦
 本学 45-14 北海道大学
 場所：みやぎ生協めぐみ野サッカー場
 本学 52-5 札幌大学
 北海道・東北代表として全国大学選手権出場
 ・第60回全国大学ラグビーフットボール選手権大会
 場所：愛知・豊田市運動公園園球技場
 本学 17-82 IPU・環太平洋大学

◆女子ラグビー部

- ・関東セブンス（龍ヶ崎）
 本学 14-28 北海道バーバリアンズディアナ
 本学 5-31 RKUグレース
 本学 10-14 YOKOHAMA TKM 0勝3敗
 ・太陽生命 WSS 入れ替え戦
 本学 7-38 北海道バーバリアンズディアナ
 本学 12-15 神戸ファストジャイロ
 本学 5-31 アザレアセブン
 本学 5-20 神戸ファストジャイロ
 本学 52-0 早稲田大学 1勝4敗 7位
 ・関東セブンス（熊谷）
 本学 25-10 日本体育大学
 本学 0-17 RKUグレース
 本学 17-14 北海道バーバリアンズディアナ
 2勝1敗 3位
 ・大学女子7人制ラグビーフットボール大会
 本学 5-7 静岡愛知合同
 本学 0-51 追手門学院大学女子ラグビー部
 本学 0-37 久留米大学女子RC・神戸ファストジャイロ・NBA 合同
 本学 19-5 早稲田大学 1勝3敗
 ・佐賀国体予選（東北総合体育大会）
 本学 22-7 福島県
 本学 35-5 秋田県

- 本学 22-7 宮城県
 本学 42-5 岩手県
 ・佐賀国体
 本学 5-36 三重県
 本学 5-31 神奈川県 0勝2敗

◆男子スピードスケート部門

- ・第44回全日本学生スピードスケート距離別選手権大会
 500m 第20位 富岡 真望 38秒27
 第25位 林 翔大 38秒77
 1000m 第32位 林 翔大 1分16秒33
 第37位 富岡 真望 1分17秒20
 第41位 黒岩 心 1分17秒76
 第51位 夏目 楓馬 1分20秒07
 1500m 第41位 黒岩 心 2分02秒43
 第48位 夏目 楓馬 2分04秒70
 5000m 第30位 小針 悠聖 7分44秒33
 10000m 第21位 小針 悠聖 15分43秒00
 ・第54回東北スピードスケート大会
 500m 第1位 林 翔大 38秒69
 第2位 富岡 真望 38秒73
 第3位 黒岩 心 39秒79
 1000m 第4位 林 翔大 1分22秒02
 第3位 富岡 真望 1分22秒01
 1500m 第6位 黒岩 心 2分30秒21
 3000m 第3位 小針 悠聖 4分47秒45
 5000m 第3位 小針 悠聖 8分08秒06
 ・第96回日本学生氷上競技選手権大会
 500m 第28位 夏目 楓馬 39秒27
 第20位 富岡 真望 38秒20
 第19位 林 翔大 37秒94
 1000m 第21位 林 翔大 1分15秒71
 第26位 富岡 真望 1分16秒86
 第28位 黒岩 心 1分17秒20
 1500m 第29位 夏目 楓馬 2分06秒19
 第28位 黒岩 心 2分04秒04
 5000m 第25位 小針 悠聖 7分34秒14
 10000m 第19位 小針 悠聖 15分55秒64
 男子チームパシュートレース
 第9位 富岡、林、夏目 4分42秒79
 男子2000mリレー
 第7位 夏目、黒岩、富岡、林 2分32秒68

◆女子スピードスケート部門

- ・全日本選抜スピードスケート競技会／帯広大会
 1000m 第6位 金井 愛未
 マスタートレース
 第3位 近藤 杏菜
 ・全日本選抜スピードスケート競技会／苫小牧大会
 500m 第6位 金井 愛未
 マスタートレース
 第5位 近藤 杏菜
 ・第44回全日本学生スピードスケート距離別選手権大会
 500m 第4位 金井 愛未
 1000m 第3位 金井 愛未
 1500m 第2位 木村 咲映
 3000m 第4位 木村 咲映

3000m 第6位 島 くるみ
 5000m 第2位 近藤 杏菜
 ・全日本選抜スピードスケート競技会／恵那大会
 500m 第3位 金井 愛未
 1000m 第2位 金井 愛未
 1500m 第4位 木村 咲映
 3000m 第5位 木村 咲映
 ・第97回日本学生氷上競技選手権大会
 500m 第6位 金井 愛未
 1000m 第2位 金井 愛未
 女子2000mリレー
 第3位 渡邊 咲良、金井 愛未、三浦 陽、
 木幡 結比
 ・第48回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会
 マスタートレース
 第6位 木幡 結比

◆自転車競技部

・第63回東日本学生選手権トラック自転車競技大会
 女子スプリント
 松下彩世香（4年）第2位
 嵯峨 希来（1年）第5位
 女子3km インディヴィデュアル・パーシュート
 松下彩世香（4年）第2位
 丸子 南俣（1年）第6位
 女子500mタイムトライアル
 松下彩世香（4年）第3位
 丸子 南俣（1年）第7位
 嵯峨 希来（1年）第8位
 男子スプリント
 小笠原 耀（1年）第12位
 男子スクラッチ
 木田 竜聖（2年）5位
 ・ジャパントラックカップI
 Women Elite Sprint 小原 乃亜（4年）第3位
 Women Elite Keirin 小原 乃亜（4年）第10位
 ・JICF INTERNATIONAL TRACK CUP 2024
 Women's Sprint 小原 乃亜（4年）第1位
 Women's Keirin 小原 乃亜（4年）第1位
 ・第64回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会
 女子スプリント
 松下彩世香（4年）第3位
 嵯峨 希来（1年）第7位
 女子3kmインディヴィデュアル・パーシュート
 丸子 南俣（1年）第5位
 女子500mタイムトライアル
 松下彩世香（4年）第5位
 嵯峨 希来（1年）第10位
 男子スクラッチ
 木田 竜聖（2年）第14位
 男子スプリント
 小笠原 耀（1年）第13位
 ・第79回全日本大学対抗選手権自転車競技大会トラック
 女子スプリント
 松下彩世香（4年）第3位
 嵯峨 希来（1年）第6位
 500m TT

松下彩世香（4年）第5位
 嵯峨 希来（1年）第11位
 女子3km IP
 丸子 南俣（1年）第10位
 女子チームスプリント
 嵯峨（1年）・松下（4年）・丸子（1年）5位
 男子オムニウム予選DNF
 木田 竜聖（1年）
 学校対抗 女子トラック 総合第5位
 ・2024全日本自転車競技選手権大会トラック
 Women Elite Sprint
 小原 乃亜（4年）第3位
 松下 彩香（4年）第6位
 Women Elite Keirin -Final-
 小原 乃亜（4年）第4位
 松下 彩香（4年）第5位
 Women Elite 500mTT
 小原 乃亜（4年）第2位
 松下彩世香（4年）第8位
 Women Junior 2kmlP
 丸子 南俣（1年）第7位 2分36秒326

◆ゴルフ部

・東北アマチュアゴルフ選手権競技、青森県予選 優勝
 ・東北アマチュアゴルフ選手権競技 第42位
 ・関東学生ゴルフ選手権予選会 第30位
 ・関東学生ゴルフ連盟7月月例会 第3位
 ・会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権 第12位
 ・国民スポーツ大会最終選考会 第4位

◆弓道部

・第63回東北学生弓道大会 決勝トーナメント第一回戦
 【本学】5-13【福島大学】敗退
 ・第70回北奥羽弓道大会 予選敗退
 ・第79回国民スポーツ大会青森県選考会
 1年荒谷が国体選手に選出
 ・第41回五戸弓道大会
 団体の部
 Bチーム第3位 総的数18/36
 個人の部
 1位/3年 笹本・3位/4年 山田
 射道優秀賞 3年 笹本
 ・第57回春季県下弓道大会
 個人の部
 1位/3年 笹本・2位/1年 荒谷・3位/4年 谷川
 ・第75回東北地区大学体育大会 予選敗退
 ・第五回鳴弦館大会
 一般の部
 団体第1位 八学大A 総的数13/24
 総合優勝 八学大A
 ・第54回東北地区秋季女子学生弓道大会 Ⅲ部
 総的数30/36 優勝
 ・東北地区秋季女子学生弓道大会 入れ替え戦
 【本学】18-8【秋田大学】勝利 よってⅡ部リーグ昇格
 ・第28回東北学生弓道新人戦
 団体の部
 決勝リーグ出場・決勝リーグ第1回戦 敗退

個人の部 1年 大向、滝沢 通過 敗退

④課外活動実績

◆軽音楽部

- ・八戸市内（ライブハウス）における企画ライブ（出演：2年生部員）
4月12日(金)・5月5日(日・祝)・6月15日(土)・
7月12日(金)・9月1日(日)・11月8日(金)・12月6日(金)
- ・地域イベント「Music Summer Festival in OJA」におけるステージ発表（出演：1年生部員）8月10日(日)
- ・はちがくフェスにおけるステージ発表（出演：1・2年生部員）
10月19日(土)・10月20日(日)

◆軟式野球部

- ・全日本大学軟式野球大会選手権春季大会奥羽地区予選
第一試合 本学 5 - 8 秋田大学
第二試合 本学 3 - 10 弘前大学
- ・全日本大学軟式野球大会選手権秋季大会奥羽地区予選
第一試合 本学 4 - 13 八戸工業大学
第二試合 本学 0 - 11 岩手大学
第三試合 本学 10 - 12 北里大学

◆障害者(児)共生サークル・アミューズ♪

- ・フレンドパーク
5月18日／第一回
6月29日／第二回
7月20日／第三回（バス遠足：十和田市現代美術館・イオンモール下田）
9月28日／第四回（調理活動：タコスづくり）
10月26日／第五回（恐竜レース）
11月30日／第六回（カラオケ）
1月18日／第七回（調理活動：クレープづくり）

◆保健室サークル

- ・保健だより情報収集・作成 7月～（ゼミ配属後）
2・4学年：ゼミ交流（勉強法等について）
- ・2・4学年：ゼミ交流（保健だより講評） 9月
- ・食生活アドバイザー資格試験 10月
- ・2～4学年：教員採用試験教採説明会 11月
- ・全学年対象：教員採用試験情報交換会 1月

◆八大ボランティアサークル

- 【4月】南浜の家くじらにて行われた、健康教室ボランティアへの参加
- 【5月】南浜の家くじらにて行われた、オレンジカフェボランティアへの参加・長者こども食堂への参加
- 【6月】南浜の家くじらにて行われた、オレンジカフェボランティアへの参加
- 【7月】南浜の家くじらにて行われた、夏祭りボランティアへの参加・福地子ども園にて行われた、ふくふくキッズ祭りボランティアへの参加
- 【8月】南浜の家くじらにて行われた、オレンジカフェボランティアへの参加・ユートピアにて行われた、夏祭りボランティアへの参加
- 【9月】南浜の家くじらにて行われた、敬老会ボランティアへの参加・福地子ども園にて行われた、運動会

ボランティアへの参加・八戸学院大学短期大学部体育館にて行われた、ユートピアの運動会ボランティアへの参加・東北ろうきん「未来へのタスキ」贈呈式への参加

- 【10月】南浜の家くじらにて行われた、健康教室ボランティアへの参加
- 【11月】南浜の家くじらにて行われた、オレンジカフェボランティアへの参加
- 【12月】南浜の家くじらにて行われた、クリスマス会ボランティアへの参加

◆吹奏楽団

- ・はちがくフェスにおけるステージ演奏
10月19日(土)・10月20日(日)
- ・「クリスマスを待ち望む待降節ミサ」での演奏奉仕
12月13日(金) 図書館チャペル

[短大学生委員会]

- ・学生委員会
委員長 差波 直樹
副委員長 岩館亜沙美
委員 中嶋 栄子
橋本 知子

- ・学生委員会庶務日誌摘録
第1回 令和6年4月15日(月)
第2回 令和6年5月13日(月)
第3回 令和6年6月10日(月)
第4回 令和6年7月8日(月)
第5回 令和6年9月9日(月)
第6回 令和6年10月7日(月)
第7回 令和6年11月11日(月)
第8回 令和6年12月9日(月)
第9回 令和7年1月7日(火)
第10回 令和7年2月10日(月)
第11回 令和7年3月10日(月)

①学生委員会学外会議

なし

②学生委員会学内行事

- ・2024年度定期健康診断
開催日：2024年4月3日(水) 幼児保育学科（在学生）
2024年4月4日(木) 新入生
2024年4月9日(火) 介護福祉学科（在学生）
場 所：八戸西健診プラザ
受診者：148名
- ・2024年度第1回交通安全講習会（短大）
開催日：2024年4月5日(水)
場 所：短大211講義室、短大111講義室
受講生：136名
- ・2024年度日本学生支援機構奨学金「予約採用説明会」
開催日：2024年4月5日(金)
場 所：520講義室
- ・2024年度日本学生支援機構奨学金「在学採用新規申込説明会」
開催日：2024年4月9日(火)～12日(金)
場 所：520講義室
- ・2024年度日本学生支援機構奨学金「採用説明会」
開催日：2024年5月16日(木)、17日(金)

- 場 所：520講義室
- ・2024年度学生総会
開催日：2024年5月17日(金)
場 所：メール開催
承認数：143名（学生会規約第12条により成立し、議決）
 - ・B B Q大会
開催日：2024年5月25日(土)
場 所：八戸学院大学5号館正面玄関前
参加者：85名
 - ・eスポーツ2024
開催日：2024年7月20日(土)
場 所：5号館520講義室
参加者：20名
 - ・2024年度第2回交通安全講習会（短大）
開催日：2024年10月2日(木)
場 所：幼児保育学科棟 211講義室
受講生：約150名
 - ・2024年度薬物乱用防止講演会（短大）
開催日：2024年10月9日(木)
場 所：幼児保育学科棟 211講義室
受講生：約150名
 - ・はちがくフェス2024
開催日：2024年10月19日(土)～10月20日（日）
場 所：八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部 美保野キャンパス
テーマ：「～ enjoy ～」
参加者：2,006名
 - ・2024年度日本学生支援機構奨学金「返還説明会」
開催日：2024年11月13日(木)、11月21日(木)
場 所：520講義室
対象者：2024年度貸与者（4年生：卒業予定者）
 - ・2024年度美保野キャンパスクリスマス企画
開催日：2024年12月12日(木)
場 所：520講義室
内 容：お祈り、ハンドベル演奏、軽音ライブ、抽選会
 - ・2024年度日本学生支援機構奨学金「継続説明会」
開催日：2024年12月9日(月)、16日(月)
場 所：520教室
対象者：2024年度貸与者（2年生を除く）
 - ・2024年度卒業パーティー
開催日：2025年3月18日(火)
場 所：プラザホテル プラザホール
参加者：137名（内短大生：63名）
 - ・2025年度八戸学院大学短期大学部学生会役員選挙
○執行委員長 佐藤 風雅（介護福祉学科1年）
○副執行委員長 高屋敷楓花（介護福祉学科1年）
佐藤 優哉（介護福祉学科1年）
○書記長 佐藤 優哉（介護福祉学科1年）
○書記 恒任 晴登（介護福祉学科1年）

(11) 就職支援委員会

[大学]

①学外会議

- ・東北地区私立大学就職問題協議会（当番校）
日 時：令和6年6月13日(木)～6月14日(金)
会 場：ユートリー 8階多目的中ホール
出席者：地域経営学科准教授 井上 丹

(就職支援委員長)

教学部就職課 課長 納谷 司
教学部就職課 課長補佐 山下 祐史
教学部就職課 主事 平塚 薫

- ・北東北三県私立大学就職支援研究会（当番校）
日 時：令和6年6月14日(金)12：00～16：00
会 場：ユートリー 5階異業種交流室
出席者：教学部就職課 課長 納谷 司
教学部就職課 課長補佐 山下 祐史
教学部就職課 主事 平塚 薫
- ・東北地区私立大学就職問題協議会「研究会」
日 時：令和6年11月29日(金)13：30～18：30
会 場：TKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口ホール6B
出席者：教学部就職課 課長補佐 山下 祐史

②就職ガイダンス・説明会等の実施状況

【就職支援講座】

- ・キャリア支援講座「卒業生講話」
日 時：令和6年9月6日(金) 12：50～14：20
会 場：8号館3階831講義室
講 師：三戸町職員 保健師 尾崎 実結 氏
日本鋼管病院看護師 五十地 更紗 氏
八戸赤十字病院看護師 長谷地 佳奈美 氏
対象者：看護学科3年生
- ・キャリア支援講座「マナー講座」
日 時：令和6年9月6日(金) 14：30～16：00
会 場：8号館3階831講義室
講 師：十和田市立中央病院看護局長 坪 利佐 氏
対象者：看護学科3年生

【内定者報告会】

- ・日 時：令和6年11月11日(月) 10：30～12：00
会 場：3号館3階330講義室
講 師：秋山あぐり、川本 倅輔、藤元 音羽、
和平美南海
対象者：人間健康学科3年生
- ・日 時：令和6年11月13日(水) 12：50～14：20
会 場：3号館3階330教室
講 師：小泉 沙菜、中野 夏見、福島 元太、
森 陽太
対象者：地域経営学科3年生
- ・日 時：令和6年12月18日(月) 12：50～14：20
会 場：3号館3階330講義室、3号館2階320講義室
講 師：小泉 沙菜、中野 夏見、福島 元太、
森 陽太、秋山あぐり、川本 倅輔、
藤元 音羽、和平美南海
対 象：地域経営学科2年生、人間健康学科2年生

【就職説明会】

- ・看護学科合同就職説明会
日 時：令和6年11月30日(土)
会 場：8号館3階 831講義室、832講義室、833講義室
参加者：24施設（県内16施設、県外8施設）59名
対象者：看護学科3年生および2年生（希望者）
- ・あおもり企業研究セミナー in八戸学院大学（人間健康学科3年生向け）
日 時：令和6年12月9日(月) 10：30～12：00
会 場：3号館3階330講義室
主 催：青森県こども家庭部若者定着還流促進課

(新卒者地元就職促進プロジェクト事業「大学での企業説明会・企業研究会」)

講 師：医療法人仁泉会、トヨタカローラ八戸㈱、プライフーズ㈱、㈱三沢奥入瀬観光開発

・あおもり企業研究セミナー in八戸学院大学（地域経営学科3年生向け）

日 時：令和6年12月11日(水) 12:50～14:20

会 場：3号館3階330講義室

主 催：青森県子ども家庭部若者定着還流促進課
(新卒者地元就職促進プロジェクト事業「大学での企業説明会・企業研究会」)

講 師：青森トヨタ自動車株、サクサシステムエンジニアリング㈱、㈱ジェイテック、生活協同組合コープあおもり、八戸通運㈱

③課外講座開催状況

・看護学科論文対策講座

日 時：令和6年4月13日(土) 10:00～11:30

4月20日(土) 10:00～11:30

4月27日(土) 10:00～11:30

会 場：8号館3階831講義室

講 師：株式会社 結

対象者：看護学科2～4年生

・公務員試験対策講座

日 時：令和6年5月20日(月) 16:10～17:40

5月22日(水) 〃

5月24日(金) 〃

5月27日(月) 〃

5月29日(水) 〃

5月31日(金) 〃

6月3日(月) 〃

6月5日(水) 〃

6月7日(金) 〃

6月10日(月) 〃

会 場：2号館2階221講義室

講 師：特定非営利活動法人ミルトス塾

対象者：全学科全学年

・教員採用試験対策講座

日 時：令和6年5月20日(月) 16:10～17:40

5月22日(水) 〃

5月24日(金) 〃

5月27日(月) 〃

5月29日(水) 〃

5月31日(金) 〃

6月3日(月) 〃

6月5日(水) 〃

6月7日(金) 〃

6月10日(月) 〃

会 場：2号館2階223講義室

講 師：特定非営利活動法人ミルトス塾

対象者：大学全学年

・社会福祉士国家試験対策特別講座

日 時：令和6年12月2日(月)、12月9日(月)

会 場：8号館1階813講義室

講 師：佐藤 雅子 氏

参加者：人間健康学科15名（4年生6名、3年生9名）

④庶務日誌摘録

第1回 令和6年4月10日(水)

第2回 令和6年5月8日(水)

第3回 令和6年6月12日(水)

第4回 令和6年7月10日(水)

第5回 令和6年9月11日(水)

第6回 令和6年10月9日(水)

第7回 令和6年11月13日(水)

第8回 令和6年12月11日(水)

第9回 令和7年2月12日(水)

第10回 令和7年3月12日(水)

〔短期大学部〕

①学外会議

・東北地区私立短期大学就職指導研究会

日 時：令和6年11月12日(火) 10:00～12:50

会 場：オンラインミーティング形式（ZOOM）

出席者：教育学部就職課 課長 納谷 司

②就職ガイダンス・説明会等の実施状況

・マナー講座

日 時：令和6年5月22日(水) 8:50～10:20

会 場：幼児保育学科棟211講義室

講 師：株式会社コナカ

POLA八戸ゆりの木通り店

対象者：幼児保育学科2年生、介護福祉学科2年生

・系列3園説明会

日 時：令和6年6月5日(水) 8:50～12:00

会 場：幼児保育学科棟111講義室、121講義室、221講義室

講 師：八戸学院幼稚園 副園長 高橋 昌樹 氏

八戸学院聖アンナ幼稚園

園長 山西 幸子 氏

八戸学院第二しのめ幼稚園

園長 加藤 康子 氏

対象者：幼児保育学科2年生

・卒業生との懇談会

日 時：令和6年11月27日(水) 10:20～12:00

会 場：幼児保育学科棟111講義室

講 師：こもれびのもり幼稚園 立花 綾乃 氏

もりのか保育園 佐々木晴菜 氏

児童養護施設浩々学園 森越 空 氏

対象者：幼児保育学科1年生

③庶務日誌摘録

第1回 令和6年4月17日(水)

第2回 令和6年5月15日(水)

第3回 令和6年6月19日(水)

第4回 令和6年7月17日(水)

第5回 令和6年9月18日(水)

第6回 令和6年10月16日(水)

第7回 令和6年11月20日(水)

第8回 令和6年12月13日(金)

第9回 令和7年2月14日(金)

第10回 令和7年3月14日(金)

(12) 広報委員会

○オープンキャンパス

・5月オープンキャンパス

実施日：令和6年5月18日(土)（9:30～13:00）

対象者：1・2・3年生

- 内 容：学科説明、体験授業、施設見学、個別相談、学食体験
- ・ 7月オープンキャンパス
実施日：令和6年7月8日(土) (9:30~13:00)
対象者：1・2・3年生
内 容：学科説明、体験授業、施設見学、個別相談、学食体験
 - ・ 9月オープンキャンパス
実施日：令和6年9月7日(土) (9:30~13:00)
対象者：1・2・3年生
内 容：学科説明、入試説明、小論文対策講座、施設見学、個別相談、学食体験
 - ・ 3月オープンキャンパス
実施日：令和6年3月8日(土) (9:30~13:00)
対象者：1・2・3年生
内 容：在学生トークショー、学科説明、体験授業、施設見学、個別相談、学食体験

○説明会

<校内説明会>

- ・ 八戸水産高等学校（ヘキサ主催）
実施日：令和6年5月16日(木)
対象者：3年生
出席者：幼児保育学科 講師 本吉 好
- ・ 盛岡大学附属高等学校（キッズコーポレーション主催）
実施日：令和6年5月28日(火)
対象者：3年生
出席者：入試広報部 広報課 係長 坂野 仁志
- ・ 名久井農業高等学校（ライセンスアカデミー主催）
実施日：令和6年6月5日(火)
対象者：2・3年生
出席者：地域経営学科 准教授 楊 麗栄
地域経営学科 講師 川守田景子
幼児保育学科 講師 本吉 好
入試広報部 係長 坂野 仁志
入試広報部 主事 高見 啓太
- ・ 八戸商業高等学校（ライセンスアカデミー主催）
実施日：令和6年6月19日(水)
対象者：3年生
出席者：入試広報部 係長 坂野 仁志
入試広報部 主事 高見 啓太
- ・ 三沢高等学校（ライセンスアカデミー主催）
実施日：令和6年6月19日(水)
対象者：1、2年生
出席者：人間健康学科 講師 泉水 朝宏
- ・ 八戸西高等学校（ライセンスアカデミー主催）
実施日：令和6年6月20日(木)
対象者：1年生
出席者：人間健康学科 准教授 有光 琢磨
- ・ 八戸工業大学第一高等学校（キッズコーポレーション主催）
実施日：令和6年6月26日(水)
対象者：3年生
出席者：入試広報部 主事 高見 啓太
- ・ 八戸水産高等学校（ライセンスアカデミー主催）
実施日：令和6年6月27日(木)
対象者：3年生

- 出席者：介護福祉学科 教授 小川あゆみ
- ・ 下山学園高等学校（ライセンスアカデミー主催）
実施日：令和6年6月27日(木)
対象者：3年生
出席者：入試広報部 係長 坂野 仁志
入試広報部 主事 高見 啓太
 - ・ 青森山田高等学校（キッズコーポレーション主催）
実施日：令和6年7月2日(火)
対象者：2年生
出席者：入試広報部 主事 高見 啓太
 - ・ 八戸学院光星高等学校（ヘキサ主催）
実施日：令和6年7月2日(火)
対象者：3年生
出席者：幼児保育学科 講師 本吉 好
入試広報部 課長 村本 景
入試広報部 係長 坂野 仁志
 - ・ 五所川原第一高等学校（キッズコーポレーション主催）
実施日：令和6年7月3日(水)
対象者：2年生
出席者：入試広報部 係長 坂野 仁志
 - ・ 千葉学園高等学校（さんぼう主催）
実施日：令和5年7月4日(木)
対象者：2年生
出席者：入試広報部 主事 高見 啓太
 - ・ 八戸商業高等学校（ライセンスアカデミー主催）
実施日：令和6年8月23日(金)
対象者：3年生
出席者：入試広報部 係長 坂野 仁志
 - ・ 八戸学院光星高等学校（ヘキサ主催）
実施日：令和6年9月10日(火)
対象者：2年生
出席者：人間健康学科 教授 渡邊 陵由
看護学科 助教 日當ひとみ
幼児保育学科 講師 本吉 好
 - ・ 八戸工業大学第一高等学校（キッズコーポレーション主催）
実施日：令和6年9月18日(水)
対象者：1年生
出席者：看護学科 助教 日當ひとみ
幼児保育学科 講師 本吉 好
 - ・ 八戸商業高等学校（ヘキサ主催）
実施日：令和6年9月18日(水)
対象者：1年生
出席者：地域経営学科 学科長 高須 則行
看護学科 准教授 久保 宣子
幼児保育学科 講師 船山 哲郎
 - ・ 八戸学院野辺地西高等学校（さんぼう主催）
実施日：令和6年10月1日(火)
対象者：2年生
出席者：地域経営学科 学科長 高須 則行
人間健康学科 講師 工藤祐太郎
 - ・ 黒石高等学校（キッズコーポレーション主催）
実施日：令和6年10月10日(木)
対象者：1、2年生
出席者：入試広報部 主任 白井 大介
 - ・ 青森中央高等学校（ヘキサ主催）
実施日：令和6年10月15日(火)

対象者：1、2年生
 出席者：入試広報部 主 事 高見 啓太
 ・青森北高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年10月22日(火)
 対象者：1、2年生
 出席者：人間健康学科 講 師 泉水 朝宏
 ・三沢商業高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年11月5日(火)
 対象者：1年生
 出席者：幼児保育学科 講 師 本吉 好
 ・八戸学院野辺地西高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年11月12日(火)
 対象者：1年生
 出席者：幼児保育学科 講 師 本吉 好
 入試広報部 主 事 高見 啓太
 ・百石高等学校（さんぼう主催）
 実施日：令和6年11月13日(火)
 対象者：2年生
 出席者：地域経営学科 准教授 崔 桓碩
 看護学科 助 教 日當ひとみ
 介護福祉学科 講 師 鈴木 絵美
 入試広報部 主 事 高見 啓太
 ・八戸商業高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年11月13日(火)
 対象者：1年生
 出席者：幼児保育学科 教 授 加藤 康子
 ・十和田工業高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和5年11月14日(木)
 対象者：1年生
 出席者：幼児保育学科 講 師 船山 哲郎
 ・五所川原第一高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年11月15日(金)
 対象者：1年生
 出席者：入試広報部 係 長 坂野 仁志
 ・八戸学院光星高等学校（ヘキサ主催）
 実施日：令和6年11月19日(火)
 対象者：1年生
 出席者：人間健康学科 教 授 渡邊 陵由
 看護学科 助 教 堺 香奈子
 幼児保育学科 講 師 本吉 好
 介護福祉学科 講 師 鈴木 絵美
 ・八戸聖ウルスラ学院高等学校（キッズコーポレーション主催）
 実施日：令和5年12月2日(月)
 対象者：1年生
 出席者：看護学科 助 教 堺 香奈子
 幼児保育学科 講 師 本吉 好
 入試広報部 主 任 白井 大介
 ・千葉学園高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年12月3日(火)
 対象者：1年生
 出席者：幼児保育学科 講 師 本吉 好
 ・三本木農業恵拓高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年12月4日(火)
 対象者：1年生
 出席者：介護福祉学科 教 授 小川 あゆみ
 ・八戸工業大学第一高等学校（キッズコーポレーション主

催）
 実施日：令和6年12月11日(水)
 対象者：2年生
 出席者：看護学科 准教授 久保 宣子
 ・千葉学園高等学校（さんぼう主催）
 実施日：令和6年12月11日(水)
 対象者：2年生
 出席者：入試広報部 主 任 白井 大介
 ・十和田工業高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年12月12日(木)
 対象者：2年生
 出席者：入試広報部 主 事 高見 啓太
 ・八戸西高等学校（さんぼう主催）
 実施日：令和6年12月17日(火)
 対象者：1、2年生
 出席者：入試広報部 主 任 坂野 仁志
 ・百石高等学校（日本ドリコム主催）
 実施日：令和6年12月18日(水)
 対象者：2年生
 出席者：地域経営学科 学科長 高須 則行
 看護学科 教 授 木村 緑
 介護福祉学科 講 師 鈴木 絵美
 入試広報部 主 事 高見 啓太
 ・八戸西高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年12月19日(木)
 対象者：2年生
 出席者：地域経営学科 学科長 高須 則行
 幼児保育学科 講 師 船山 哲郎
 ・弘前南高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和6年12月19日(木)
 対象者：1・2年生
 出席者：入試広報部 主 任 白井 大介
 ・軽米高等学校（さんぼう主催）
 実施日：令和6年12月25日(水)
 対象者：1年生
 出席者：入試広報部 係 長 坂野 仁志
 ・向陵高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和7年1月21日(火)
 対象者：1年生
 出席者：幼児保育学科 教 授 加藤 康子
 ・八戸水産高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和7年1月24日(金)
 対象者：1年生
 出席者：地域経営学科 学部長 村本 卓
 ・五所川原農林高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和7年1月29日(水)
 対象者：1年生
 出席者：幼児保育学科 教 授 小川あゆみ
 ・弘前学院聖愛高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和7年1月31日（金）
 対象者：2年生
 出席者：入試広報部 主 任 白井 大介
 ・名久井農業高等学校（ライセンスアカデミー主催）
 実施日：令和7年2月4日(火)
 対象者：1・2年生
 出席者：入試広報部 係 長 坂野 仁志
 ・八戸学院野辺地西高等学校（ライセンスアカデミー主催）

実施日：令和7年2月4日(火)
 対象者：2年生
 出席者：入試広報部 主 事 高見 啓太
 ・八戸商業高等学校（さんぼう主催）
 実施日：令和7年2月5日(水)
 対象者：2年生
 出席者：入試広報部 主 事 高見 啓太
 ・八戸工業大学第一高等学校（キッズコーポレーション主催）
 実施日：令和7年2月12日(水)
 対象者：1・2年生
 出席者：看護学科 助 教 堺 香奈子
 ・柴田学園高等学校（さんぼう主催）
 実施日：令和7年2月13日(木)
 対象者：1年生
 出席者：入試広報部 主 事 高見 啓太
 ・久慈東高等学校（さんぼう主催）
 実施日：令和7年2月27日(木)
 対象者：1年生
 出席者：入試広報部 係 長 坂野 仁志
 ・岩手高等学校（キッズコーポレーション主催）
 実施日：令和7年3月3日(月)
 対象者：1・2年生
 出席者：人間健康学科 准教授 有光 琢磨
 ・盛岡スコーレ高等学校（キッズコーポレーション主催）
 実施日：令和7年3月5日(水)
 対象者：1年生
 出席者：地域経営学科 学科長 高須 則行
 ・弘前実業高等学校（キッズコーポレーション主催）
 実施日：令和7年3月13日(木)
 対象者：1・2年生
 出席者：地域経営学科 学科長 高須 則行
 ※その他、各地ホテルで行なわれた業者主催進学相談会には、29回出席。

○庶務日誌摘録

令和6年 4月10日(水) 5月1日(水) 6月5日(水)
 7月3日(水) 9月4日(水) 10月2日(水)
 11月6日(水) 12月4日(水)
 令和7年 2月5日(水) 3月5日(水)

(13) 入学試験運営委員会

○2025年度入学試験

令和6年 10月12日(土) 大学、短大：総合型選抜（資格
 特待含む）A日程
 11月16日(土) 大学、短大：学校推薦型選抜、
 社会的養護の施設等推薦型選
 抜
 12月14日(土) 大学、短大：総合型選抜（資格
 特待含む）B日程
 大学：編入・転入学選抜Ⅰ期
 大学：別科助産専攻選抜
 短大：社会人選抜Ⅰ期
 令和7年 1月18日(土)、19日(日)
 大学、短大：大学入学共通テス
 ト試験成績利用選抜（A、B、
 C日程）

1月28日(火) 大学：別科助産専攻2次募集
 2月6日(木) 大学、短大：一般選抜Ⅰ期
 大学：外国人留学生編入・転編
 入選抜Ⅰ期
 2月22日(木) 大学、短大：総合型選抜（資格
 特待含む）C日程
 大学：編入・転入学選抜Ⅱ期
 3月8日(金) 大学：一般選抜Ⅱ期

○庶務日誌摘録

令和6年 4月9日(火) 5月7日(火) 6月11日(火)
 7月9日(火) 9月10日(火) 10月8日(火)
 11月12日(火) 12月10日(火)
 令和7年 1月20日(月) 2月4日(火)

(14) 大学入学共通テスト実施委員会

①学外会議

・大学入学共通テスト地区別連絡会議
 日 時：令和6年7月4日(木)
 会 場：青森大学
 出席者：村本 景、山下 祐史

②その他

・令和7年度大学入学共通テストの実施
 令和7年度大学入学共通テストは、令和7年1月18日
 (土)・19日(日)2日間で実施された。

③庶務日誌摘録

令和6年 10月8日(火) 11月12日(火) 12月10日(火)
 12月16日(月)（監督者説明会） 12月20日(金)
 令和7年 1月8日(水) 2月4日(火)

(15) 国際交流・留学生支援委員会

委 員 長 B.グロスマン
 副委員長 三浦 文恵 横田 将志
 委 員 G.アンソニー 崔 桓碩 楊 麗栄
 工藤祐太郎 石原 良明 壬生 寿子
 久保 宣子 坂本利枝子

・国際交流支援委員会庶務日誌摘録

第1回 令和6年4月19日(金)
 第2回 令和6年5月16日(木)
 第3回 令和6年6月20日(木)
 第4回 令和6年7月18日(木)
 第5回 令和6年9月19日(木)
 第6回 令和6年10月17日(木)
 第7回 令和6年11月14日(木)
 第8回 令和6年12月12日(木)
 第9回 令和7年2月13日(木)
 第10回 令和7年3月13日(木)

①国際交流支援委員会学外会議

・青森県留学生交流会推進協議会・運営委員会
 開催日：2024年12月13日(金)
 場 所：八戸工業大学 大会議室
 出席者：B.グロスマン

②国際交流支援委員会行事

・海外研修説明会（オリエンテーション）
 開催日：2024年4月4日(木)
 場 所：520講義室、330講義室、832講義室
 833教室、211講義室（短大）
 ・海外研修（シアトル）説明会

- 開催日：2024年4月26日(金)
場 所：833教室
- ・海外研修（チェンマイ）説明会
開催日：2024年11月8日(金)
場 所：811教室
 - ・TOEIC試験
- <春学期>
開催日：2024年7月26日(金)
受験者：8名（大学8名）
場 所：2号館211講義室
- <秋学期>
開催日：2025年1月23日(金)
受験者：8名（大学8名）
場 所：2号館211講義室
- ・第1回あおもりグローバル人材養成セミナー（あおもりグローバルアカデミー）実行委員会
開催日：2024年5月27日(月)
場 所：三沢市国際交流教育センター
参加者：三浦文恵、G.アンソニー
 - ・三沢市国際交流協会総会
開催日：2024年5月28日(火)
場 所：グランヒルつたや
参加者：三浦文恵
 - ・ダバオ大学オンラインミーティング
場 所：1号館会議室
参加者：グロスマン、G.アンソニー、三浦文恵
 - ・アメリカンデー
開催日：2024年6月23日(日)
場 所：三沢市役所、米軍三沢基地周辺
参加者：G.アンソニー、三浦文恵
学生4名（短大2名含む）
 - ・南部町いちご狩り&国際交流会
開催日：2024年5月26日(日)
場 所：南部町
参加者：留学生2名
 - ・あおもりグローバルアカデミー（第1回）
開催日：2024年10月26日(土)～2024年10月27日(日)
場 所：三沢市国際交流教育センター
参加者：三浦文恵、G.アンソニー
 - ・国際ふれあいフェスタ
開催日：2024年10月27日(日)
場 所：はっち・マチニワ
参加者：留学生2名
 - ・あおもりグローバルアカデミー（第2回）
開催日：2024年11月23日(土)～2024年11月24日(日)
場 所：三沢市国際交流教育センター
参加者：三浦文恵、G.アンソニー
 - ・あおもりグローバルアカデミー（第3回）
開催日：2024年12月7日(土)～2024年12月8日(日)
場 所：三沢市国際交流教育センター
参加者：三浦文恵、G.アンソニー
 - ・世界文化体験デー
開催日：2024年11月10日(日)
場 所：八戸市美術館
参加者：三浦文恵、楊麗栄
留学生6名（短大）
 - ・KAIGOフェスタ

- 開催日：2024年12月7日(土)
場 所：幼児保育棟
参加者：三浦文恵
- ・西安外国語大学（中国）とのオンライン交流会
開催日：2024年7月9日(火)
場 所：8号館3階833講義室
参加者：本学41名
 - ・シアトル海外語学研修への参加
研修地：アメリカ合衆国ワシントン州シアトル
備 考：該当者なし
 - ・チェンマイ海外語学研修への参加
研修地：タイ王国チェンマイ
申込者：本学生1名
催行人数2人未満につき実施なし
 - ・Cmate海外語学研修への参加
研修地：エルニド
参加者：1名
 - ・Rolling Korea海外語学研修への参加
研修地：韓国
参加者：1名

(16) 図書館

①学外会議

1. 令和6年度青森県高等教育機関図書館協議会総会
開催日：令和6年7月31日(水)
場 所：オンライン
2. 令和6年度青森県高等教育機関図書館協議会研修会
開催日：令和6年11月25日(月)
場 所：オンライン

②図書館見学会などの外来状況

③休・閉館について

- 令和6年4月5日(金) 入学式
令和6年4月18日(木) 創立記念日
令和6年8月9日(金)～8月16日(金) 夏季休業等
令和6年12月27日(金)～令和7年1月3日(金)
年末年始休業
令和7年1月16日(木)～1月17日(金)
大学入学共通テスト
令和7年3月18日(火) 学位記授与式

④『八戸学院大学紀要』『八戸学院大学短期大学部紀要』の内容一覧

- (1)『八戸学院大学紀要第69号』（2024年12月25日発行）

◇田村正文

- ・地域資源の付加価値化に資する情報システムの役割に関する考察－6次産業化・地域観光の視点からの検討－

◇馬場祥次、郷家大暉、野田士龍、大山美夢、宮野日和、杉本陽尋

- ・八戸学院大学における学生向けデジタルサイネージの構築とその効果

◇馬場祥次、小泉沙菜、後藤乃愛、中沢莉子、横浜聖羅、甲地美穂

- ・八戸学院大学の学生向けチャットボット構築とその効果

◇横田将志

- ・東南アジア諸国と北東アジア諸国との国交樹立の史的展開

◇小澤昭夫

- ・アイルハルト・フォン・オーベルク『トリストラントと

- イザルデ』(4)
- ◇小沢久美子, 久保宣子, 高橋雪子
- ・看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標に関する研究
- ◇切明美保子, 溝江弓恵
- ・高齢者の生活機能の理解を深める演習プログラムの学習効果－排泄援助の自作動画と学習形態の組み合わせの試み－
- ◇柴生田英香, 古舘美喜子, 吉岡幸子
- ・看護学生における保健師の認識に関する基礎的調査－A大学のWeb調査結果から－
- ◇市川裕美子
- ・臨地実習に相応しい看護学生の身だしなみに関する文献検討
- ◇坂本弘子, 足澤ちか子, 市川裕美子
- ・看護大学生の防災への関心の実態と関連要因
- (2)『八戸学院大学紀要第70号』(2025年3月3日発行)
- ◇奈良卓
- ・社会資本が経済成長と土地利用に及ぼす影響－多様性選好と出生率の内生化－
- ◇楊麗栄, 久保宣子
- ・中国語話者を対象とした医療現場で使われる日本語教育
- ◇渡邊陵由, 平塚和也, 工藤祐太郎, 三本木温
- ・小・中・高等学校における冬季野外活動(スキー)の実態－本学学生の質問調査結果から－
- ◇立石真司
- ・知的障害者の意思決定支援における相談支援従事者の役割構造－地域移行に焦点をあてて－
- ◇平塚和也, 西村三郎, 工藤祐太郎, 渡邊陵由, 三本木温
- ・小学校体育授業における準備運動と整理運動の実態
- ◇三本木温, 木村浩哉
- ・日本における生涯スポーツ施策の変遷－スポーツ実施率の向上方策に着目して－
- ◇立石真司, 吉田守実, 大木えりか, 米田政葉
- ・社会福祉士養成課程における客観的臨床能力試験(OSCE)の試行的実施と今後の課題
- ◇小沢久美子, 久保宣子
- ・基礎看護学実習Ⅱ・Ⅲにおける対象理解に関する学び
- ◇高橋雪子, 前森桃子, 藤邊祐子
- ・未就学児の性の健康教室における助産学生の学び
- ◇藤邊祐子
- ・後期早産児(Late Preterm Infant)を出産した母親の思いに関する文献検討
- ◇前森桃子
- ・就学児の性教育の現状に関する文献検討
- (3)『八戸学院大学短期大学部研究紀要第59巻』(2024年12月25日発行)
- ◇橋本知子
- ・幼児期におけるリトミックより育まれる能力についての研究－親子でリトミック体験教室の実践を通して－
- ◇坂本利枝子
- ・小学校音楽系部活動の地域移行の現状と課題について－青森県八戸市内および三戸郡内小学校へのアンケート調査より－
- ◇池田拓馬
- ・学びを可視化する日常の空間装飾－アート作品や学生の作品を利用した大学内の環境活用－

- ◇岩館亜沙美, 鈴木絵美
- ・介護福祉士養成校卒業生に関する意識調査について－本学卒業生の動向調査から－
- (4)『八戸学院大学短期大学部研究紀要第60巻』(2025年3月3日発行)
- ◇中嶋栄子, 鈴木康弘, 橋本知子, 坂本利枝子, 松坂真奈美
- ・ICTを活用したピアノレッスン・弾き歌いの学修成果の可視化に向けた取り組み
- ◇中嶋栄子
- ・幼児の童謡と小学校「音楽科」歌唱における連続性に関する研究－童謡と小学校歌唱教材の比較を通して－
- ◇坂本利枝子
- ・童謡のドイツ語訳への試み
- ◇加藤康子
- ・おやつ教室を通して学ぶ食のこと
- ◇池田拓馬, 安田眞理子
- ・「美術館や身近な環境を活用した図画工作授業研究」－横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校及び八戸市美術館における授業実践の報告－
- ◇鳴海孝彦
- ・災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドラインに関する考察－令和6年能登半島地震での青森県災害福祉支援チーム(DWAT)の活動より－
- ⑤その他
- 第6回八戸学院図書館ビブリオバトル
開催日：令和6年7月19日(金)
会 場：図書館1階閲覧室
 - 第3回八戸学院大学・八戸工業大学ビブリオバトル交流会
開催日：令和6年10月19日(土)
会 場：八戸学院大学520教室
 - 第11回ビブリオバトル in ハチノヘ
開催日：予 選 高校生～一般の部：9月16日(月)
決勝戦 高校生～一般の部：11月23日(土)
会 場：デーリー東北新聞社本社(予選・決勝戦)
 - 第4回ブックハンティング
開催日：令和6年10月21日(月)
場 所：八戸ブックセンター
 - 八戸学院図書館・八戸工業大学図書館 読書週間合同企画 図書交換2024
開催期間：令和6年11月1日(金)～11月29日(金)
会 場：八戸学院図書館及び八戸工業大学図書館・閲覧室
 - テーマ展示
3.11 東日本大震災特集『キロクをキオクに』
本屋大賞特集
ブックハンティング選書本展示
吹奏楽特集
夏のスポーツ特集
大切な君に贈る本(9/10～16 自殺予防週間)
- ⑥庶務日誌摘録
- ・図書委員会
令和6年4月30日(火)
令和6年9月10日(火)
令和6年12月10日(火)
令和7年2月6日(木)

(17) 地域連携研究センター

1. 産業文化研究第34号（2025年3月31日発行）

○原著論文

◇田村 正文

『地方行政による地域資源の創出

－図書に関する施設建設とその拠点性に着目して－』

○研究ノートおよび研究資料

◇鳴海 孝彦

『地域特性を活かしたプラットフォームの形成による介護人材養成確保推進事業の成果と課題

青森県三八地区介護人材確保・養成プラットフォームにおける3年間の活動』

2. 受託研究・受託事業

○受託名：大学資産を活用したアートの学び事業業務委託
委託者：八戸市（八戸市美術館）

○受託名：八戸市外国人介護人材交流会等業務
委託者：八戸市（八戸市福祉部介護保険課介護事業者グループ）

○受託名：大人のためのスピードスケート教室運営業務委託
委託者：八戸市（観光文化スポーツ部長根屋内スケート場）

○受託名：八戸菊のスカーフデザイン
委託者：「Mami」出町麻江

3. 課外講座等開催状況

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
三校連携創作体験ワークショップ
「アートな吹き流し制作ワークショップ」

開催日：令和6年6月16日(日)

会場：八戸市美術館 スタジオ

講師：池田 拓馬（八戸学院大学短期大学部
幼児保育学科学科 准教授）
船山 哲郎（八戸学院大学短期大学部
幼児保育学科学科 講師）

主催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「ハッピーファミリーアワー」

開催日：令和6年8月23日(金)

会場：八戸市美術館

講師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター
副センター長）

主催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」

開催日：令和6年8月31日(土)

会場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター
副センター長）

主催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）

○講座名：第11回防災士養成講座

開催日：令和6年9月7日(土)8日(日)

会場：八戸学院大学 3、5号館

講師：館合 裕之氏（青森県防災士協会八戸支部）

今 明秀氏（八戸市立病院 医師）

吉田 守実（八戸学院大学 健康医療学部
人間健康学科 教授）

鳴海 孝彦（八戸学院大学短期大学部 介護
福祉学科 准教授）

中村 智行氏（青森中央学院大学 経営法
学部 准教授）

立岡 伸章氏（弘前医療福祉大学短期大学
部 教授）

坂本 弘子（八戸学院大学 健康医療学部
看護学科 准教授）

佐々木真湖（八戸学院大学 健康医療学部
看護学科 講師）

西川 健（八戸学院大学 健康医療学部
看護学科 講師）

堺 香奈子（八戸学院大学 健康医療学部
看護学科 助教）

足澤ちか子（八戸学院大学 健康医療学部
看護学科 助教）

井上 丹（八戸学院大学 地域経営学部
地域経営学科 講師）

主催：八戸学院地域連携研究センター

○講座名：令和6年度 六ヶ所村保育等研修会
「今、求められる保育実践」

開催日：令和6年9月10日(火)

会場：六ヶ所村文化交流プラザスワニー

講師：差波 直樹（八戸学院大学短期大学部
幼児保育学科学科 教授）

主催：六ヶ所村役場（こども支援課）

○講座名：大人のためのスピードスケート教室

開催日：令和6年9月21日(土)

会場：YSアリーナ八戸

講師：船場 亜希（教学部 学生課）

主催：八戸市

（大人のためのスピードスケート教室委託事業）

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」

開催日：令和6年9月29日(日)

会場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター
副センター長）

主催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」

開催日：令和6年10月14日（月・祝）

会場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター
副センター長）

主催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）

○講座名：大人のためのスピードスケート教室

開催日：令和6年10月5日(土)

会場：YSアリーナ八戸

講 師：船場 亜希（教学部 学生課）
主 催：八戸市
（大人のためのスピードスケート教室委託事業）
○講座名：大人のためのスピードスケート教室
開催日：令和6年10月12日(土)
会 場：YSアリーナ八戸
講 師：船場 亜希（教学部 学生課）
主 催：八戸市
（大人のためのスピードスケート教室委託事業）
○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
学生×社会人のアートの学び実践講座
「アクセシビリティ（Accessibility）向上実践会議」
第1回「誰もが利用しやすい美術館とは？」
開催日：令和6年10月18日(金)
会 場：八戸市美術館 スタジオ
講 師：大谷 郁 氏
（東京都庭園美術館 学芸員）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）
○講座名：大人のためのスピードスケート教室
開催日：令和6年10月19日(土)
会 場：YSアリーナ八戸
講 師：船場 亜希（教学部 学生課）
主 催：八戸市
（大人のためのスピードスケート教室委託事業）
○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
法の最先端講座—自動運転を考える—
「自動運転の概要と現状」
開催日：令和6年10月30日(水)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ
講 師：福田 弥夫（八戸学院地域連携研究センター教授）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
三校連携創作体験ワークショップ
「音のなる絵本を創ろう」
開催日：令和6年11月3日(日)
会 場：八戸市美術館 スタジオ
講 師：桶本 まどか 氏（八戸工業大学 工学部
工学科 システム情報工学コース 助教）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）
○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」
開催日：令和6年11月3日(日)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ
講 師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター副センター長）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）
○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
創業・事業承継講座
第1部 創業支援
「創業計画書を作成する前のアイデア整理」
開催日：令和6年11月6日(水)

会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ
講 師：山本 卓司 氏（日本政策金融公庫 八戸支店 上席課長代理）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
三校連携創作体験ワークショップ
「ブリリアント・ミネラル」
開催日：令和6年11月9日(日)
会 場：八戸市美術館 スタジオ
講 師：土屋 範芳 氏（八戸工業高等専門学校 校長）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市美術館委託事業）
○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
創業・事業承継講座
第1部 創業支援
「具体的な創業計画書の作り方」
開催日：令和6年11月13日(水)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ
講 師：鈴木 優音 氏（日本政策金融公庫 八戸支店 課長代理）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
○講座名：八戸市外国人介護人材交流会等業務
「KAI-GO !!セミナー」
開催日：令和6年11月15日(金)
会 場：八戸市美術館 スタジオ
進 行：小川 あゆみ（八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 教授）
講 師：八戸市役所 介護保険課 介護事業者グループ
青森県 南部町 交流推進課
鳴海 孝彦（八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 准教授）
高橋 敦子（修光園デイサービスセンター相談員）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
（八戸市委託事業）
○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
法の最先端講座—自動運転を考える—
「自動運転のいろいろな課題」
開催日：令和6年11月20日(水)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ
講 師：福田 弥夫（八戸学院地域連携研究センター教授）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
創業・事業承継講座
第2部 事業承継支援
「日本公庫の事業承継支援」
開催日：令和6年12月4日(水)
会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ
講 師：山本 卓司 氏（日本政策金融公庫 八戸支店 上席課長代理）
主 催：八戸学院地域連携研究センター
○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
学生×社会人のアートの学び実践講座
「アクセシビリティ（Accessibility）向上実践会議」
第3回「美術館の利用しやすさを考える パー

ト②」

開催日：令和6年12月7日(土)

会 場：八戸市美術館 スタジオ

講 師：大谷 郁 氏

(東京都庭園美術館 学芸員)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

(八戸市美術館委託事業)

○講座名：八戸市外国人介護人材交流会等業務
「KAI-GO !! 交流会」

開催日：令和6年12月8日(日)

会 場：八戸市美術館 スタジオ

進 行：小川 あゆみ (八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科 教授)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

(八戸市委託事業)

○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
法の最先端講座—自動運転を考える—
「自動運転と法的課題・技術的課題」

開催日：令和6年12月11日(水)

会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講 師：福田 弥夫 (八戸学院地域連携研究センター 教授)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

○講座名：食品製造業界におけるAI活用勉強会
(オンライン講習会)

開催日：令和6年12月16日(月)

講 師：村本 卓 (八戸学院大学地域経営学部 地域経営学科 教授)

依頼者：太子食品工業株式会社

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「託児ルーム」

開催日：令和6年12月22日(日)

会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講 師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター 副センター長)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

(八戸市美術館委託事業)

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「ハッピーファミリーアワー」

開催日：令和6年12月26日(木)

会 場：八戸市美術館

講 師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター 副センター長)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

(八戸市美術館委託事業)

○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
アメリカ法を学ぶ—アメリカと日本の法律の違いを考える—
「英米法と大陸法」

開催日：令和7年1月22日(水)

会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講 師：福田 弥夫 (八戸学院地域連携研究センター 教授)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業

美術館のアクセシビリティ向上事業

「託児ルーム」

開催日：令和7年1月26日(日)

会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講 師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター 副センター長)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

(八戸市美術館委託事業)

○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
アメリカ法を学ぶ—アメリカと日本の法律の違いを考える—
「連邦裁判所と州裁判所」

開催日：令和7年1月29日(水)

会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講 師：福田 弥夫 (八戸学院地域連携研究センター 教授)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

○講座名：大学資産を活用したアートの学び事業
美術館のアクセシビリティ向上事業
「ハッピーファミリーアワー」

開催日：令和7年2月26日(火)

会 場：八戸市美術館

講 師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター 副センター長)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

(八戸市美術館委託事業)

○八戸水産高校応援プロジェクトフォーラム

開催日：令和7年2月17日(月)

会 場：八戸グランドホテルMIYABI

発 表：水産事務所参事 西村 剛 氏
「陸上養殖ビジネスモデル構築に向けた取組について」

八戸水産高等学校 海洋生産科

「“養殖技術確立を目指して”～IXの歴史とDXの訪れ～」

八戸水産高等学校 水産食品科

「フリーズドライ研究：チームほっ立て！八水高Ⅲ」

共 催：八戸水産アカデミー 高等教育部門

後 援：八戸学院教育・研究・社会貢献後援会

○講座名：睡眠障害とその対応

開催日：令和7年3月10日(月)

会 場：八戸パークホテル

講 師：田中 克枝 (八戸学院大学健康医療学部看護学科 教授)

依頼者：三八五流通株式会社

○講座名：八戸学院まちなかラボ水曜講座
アメリカ法を学ぶ—アメリカと日本の法律の違いを考える—
「法学教育と法律家」

開催日：令和7年3月31日(月)

会 場：八戸市美術館 八戸学院まちなかラボ

講 師：福田 弥夫 (八戸学院地域連携研究センター 教授)

主 催：八戸学院地域連携研究センター

・庶務日誌摘録

第1回 令和6年4月25日(木)
第2回 令和6年5月23日(木)
第3回 令和6年6月27日(木)
第4回 令和6年7月25日(木)
第5回 令和6年9月26日(木)

第6回 令和6年10月24日(木)
第7回 令和6年11月28日(木)
第8回 令和6年12月19日(木)
第9回 令和7年1月23日(木)
第10回 令和7年2月27日(木)

令和6年度採用教員紹介

八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科

埴原 啓正 (はいばら ひろまさ)

1996年生まれ、山梨県笛吹市出身。日本大学大学院法学研究科私法学専攻博士後期課程退学(修士(法学))。日本大学通信教育部インストラクター等を経て2024年9月より本学地域経営学部地域経営学科助教。担当科目はデータサイエンス入門、情報社会論等。専攻は商事法で、会社の再建と財務リストラクチャリングを中心としつつ、電子商取引や倒産手続のIT化等を研究している。主要な業績として、「社債権者の意思決定に関する試論的考察—個別的権利行使の許容可能性—」法学研究年報52号(2022)、「会社の再建時における既存株主のリストラクチャリング—会社法における既存株主の有する株式価値と株主責任論の交錯—」法学研究年報53号(2024)、「会社の早急の危機時期における取締役の行為規範」法政論叢60巻1号(2024)、『ケース別一般条項による主張立証の手法』(ぎょうせい、2024)等がある。所属学会は日本私法学会、日本民事訴訟法学会、日本法政学会、実践経営学会。

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科

三本木 温 (さんぼんぎ ゆたか)

1968年生まれ、北海道出身、北海道教育大学函館分校卒業、筑波大学大学院体育科学研究科満期退学、博士(体育科学)。専門分野は体力学。2000-2002年まで藤沢市保健医療センター、2003-2005年まで青森県スポーツ科学センター、2006-2015年まで八戸大学(八戸学院大学)人間健康学部、2016-2023年まで山梨学院大学スポーツ科学部に勤務し、2024年から現職。担当科目は「生涯スポーツ論」、「地域スポーツ論」。主な業績は「陸上競技・女子中距離競技者を対象とした長期間にわたる低酸素トレーニングの実践報告」(山梨学院大学スポーツ科学研究、2021年)、「ランニング愛好者における過去のランニングへの意識に関する調査研究」(ランニング学研究、2017年)、「筋力・筋パワーからみた長距離走による脚筋疲労に関する研究」(ランニング学研究、2005年)。所属学会は、日本体育・スポーツ・健康学会、日本体力医学会、ランニング学会など。

阿部 俊彦 (あべ としひこ)

1967年生、岩手県大船渡市出身、埼玉大学大学院文化科学

研究科修士課程修了、文化科学(修士)。現在、立命館大学先端総合学術研究科博士後期課程に在籍中。精神保健福祉士資格を有する。専門分野は福祉社会学、医療社会学、エスノメソドロジー・会話分析。1987年より海上保安庁(海上保安官)、厚生省(厚生事務官)、松戸市立第二中学校(講師)、あしなが育英会(ケアディレクター)、東海学院大学、金城学院大学、旭川大学、大阪人間科学大学、秋田看護福祉大学を勤務し、2024年9月より現職。主な担当科目は、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「保健医療と福祉」等の社会福祉士プログラムの科目。主な業績として、「阪神淡路大震災遺児と心のケア」(『喪失と生存の社会学』共著)、「精神障害者と仕事」、「精神障害者の生活実践」、「家族モラルの診断装置としての医療空間」「終末期患者の存在論」など。所属学会は、日本社会学会、関東社会学会、福祉社会学会、日本保健医療社会学会、東海社会学会、EMCA研究会。

今川 ゆき (いまかわ ゆき)

1993年生まれ、宮城県出身。東北福祉大学大学院総合福祉学研究科福祉心理学専攻修士課程修了。現在、東北大学大学院文学研究科博士後期課程在籍中。専門分野は実験心理学、臨床心理学。東北福祉大学において感性福祉研究所特任研究員、入学センター職員を経て、2020年から臨床心理士および公認心理師として仙台市精神保健福祉総合センターにて精神科デイケア業務に従事。2024年9月より現職。担当科目は、「社会心理学」、「健康心理学」、「心理学実習」。主な業績は、「A linear mixed-effect model analysis of the effect of schizotypal personality traits on confidence in reality monitoring」、「予測的・回顧的メタ認知判断における共通性と差異性の検討」、「心拍カウント課題に関するメタ認知と内発的注意の関連性」等。日本心理学会、日本心理臨床学会、東北心理学会に所属。

八戸学院大学 健康医療学部 看護学科

田中 完 (たなか ひろし)

1958年生、岩手県盛岡市出身
学歴：弘前大学医学部卒業、弘前大学大学院医学研究科修了(医学博士)
専門分野：小児科学、小児腎臓病学、小児リウマチ学
資格：日本小児科学会専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医
職歴：大館市立総合病院小児科医、盛岡赤十字病院小児科

医、国保三戸中央病院小児科医長、岩手県立北上病院小児科医長、弘前大学医学部附属病院講師、弘前大学教育学部教授、弘前大学教育学部附属小学校長、八戸学院大学特任教授

担当科目：病態学、小児看護援助論、その他

主な業績：「Retinoic acid-inducible gene-I is induced by double-stranded RNA and regulates the expression of CC chemokine ligand (CCL) 5 in human mesangial cells. Nephrol Dial Transplant 2010; 25: 3534-3539」, 「Long-term tacrolimus-based immunosuppressive treatment for young patients with lupus nephritis: a prospective study in daily clinical practice. Nephron Clin Pract 2012; 121: c165-c173」, 「Glomerular expression of fractalkine is induced by polyinosinic-polycytidylic acid in human mesangial cells: possible involvement of fractalkine after viral infection. Pediatr Res 2013; 73: 180-186」, 「Treatment of pediatric-onset lupus nephritis: A proposal of optimal therapy and prospects for new medicines. Clin Exp Nephrol 2017; 21: 755-763」, 「Overweight children at a primary school in Hirosaki City: A longitudinal, individualized, observational study. Tohoku J Exp Med 2019; 247: 209-214」, 「Long-term outcome of tacrolimus-based immunosuppressive treatment for patients with paediatric-onset lupus nephritis. Nephrology 2024; 29: 901-908」, 他

主な社会活動：公益社団法人青森県医師会常任理事として県の健康医療福祉部・子ども家庭部・県教育庁の各種会議への参画、指定難病・小児慢性特定疾病などの書類審査、西北五広域連合鰯ヶ沢病院・青森労災病院・青森県立中央病院非常勤医師、多種の国際医学雑誌の編集委員、等
所属学会：日本小児科学会、日本腎臓学会、日本小児腎臓病学会、日本小児リウマチ学会、国際小児腎臓学会、等

野崎 悦子 (のざき えつこ)

1963年生まれ、青森県七戸町出身。東京医科大学病院附属看護専門学校、同愛記念病院附属高等看護学院助産学科卒業。看護師・助産師免許取得。青森県立保健大学大学院健康科学研究科健康科学専攻博士前期課程修了（看護学修士）。公立七戸病院で23年間、産婦人科病棟のほか、訪問看護室、健診センターで勤務。その後十和田市立中央病院で15年間、病棟および外来で勤務。2024年4月より本学健康医療学部看護学科助教（地域・在宅看護領域）。研究分野は「訪問看護」。担当科目は、「地域・在宅看護援助論」「地域・在宅看護実習」「基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」。所属協会は日本看護協会、青森県看護協会。

八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科

三上 幾子 (みかみ いくこ)

1958年生、青森県東津軽郡出身。弘前大学人文学部文学科卒業。
青森県県立高校教員として採用され、県内の普通科高校教

諭、教頭（青森・八戸西）、校長（十和田西、三戸）として勤務した。定年退職後の私立高校非常勤講師を経て、2024年4月より現職。担当科目は、日本語表現、保育の文章表現Ⅰ・Ⅱ、日本語リテラシー、日本語表現リテラシー、保育実習指導Ⅰ、教職・保育実践演習、など。専門分野は、国文学、国語教育。高校教員として「書くことによる生徒の表現力・発信力の向上」を目指した教科指導や、小論文指導のための教材作成などに取り組んできた。研究テーマは、文章表現力向上のための方法と実践、幼児期の活動と国語科「書くこと」とのつながり。

所属学会：全国大学国語教育学会

八戸学院地域連携研究センター

福田 弥夫 (ふくだ やすお)

1958年生、青森県八戸市出身。日本大学大学院法学研究科博士前期課程修了、博士（法学）。専門分野は、民事法学・保険法・交通損害賠償法。カリフォルニア大学ヘースティングス法科大学院客員研究員、八戸大学、サンフランシスコ大学法科大学院客員教授、武蔵野女子大学現代社会学部教授、日本大学法学部教授、日本大学危機管理学部長・教授、日本大学理事を経て、2024年4月より現職。元 日本保険学会理事長、国際保険法学会理事、現 日本学生氷上競技連盟会長。2025年4月からは、八戸学院地域連携研究センター長も兼任している。主な直近の論文は、「交通事故賠償における補償・救済システムの現状と課題」、「自動運転とノーフォルト保険の現状と課題」、「日本における自動運転と事故解析」、「フラッターナル保険の現代的意義－最近の状況を中心に」主な所属学会は、日本保険学会、日本私法学会、アメリカ法律家協会。